

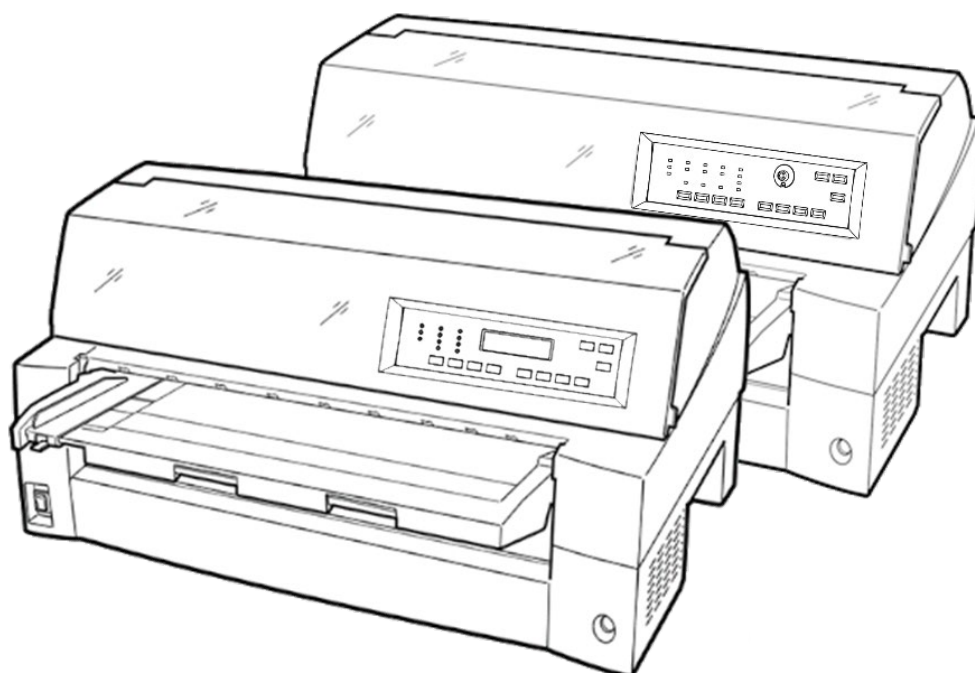
ドットインパクトプリンター

fit7850Pro

fit7650Pro

fit7450Pro

取扱説明書(ソフトウェア編)



富士通アイソテック株式会社

目 次

目 次	1
1 はじめに	3
1.1 概要	3
1.2 対象ソフトウェア	4
1.3 商標について	4
1.4 動作環境	5
2 インストール	6
2.1 本書での説明表記について	6
2.2 インストールを始める前に	8
2.3 プリンタードライバ	9
2.3.1 インストール手順	9
2.3.2 インストール確認	12
2.3.3 テストページが印刷されない場合	13
2.4 ソフトウェア	14
2.4.1 インストール手順	14
3 アンインストール	15
3.1 プリンタードライバ	15
3.2 ソフトウェア	18
4 機能説明	19
4.1 プリンタードライバ	19
4.1.1 プリンタードライバの設定	19
4.1.2 印字可能領域	31
4.1.3 印刷の向き	38
4.1.4 ページの順序	38
4.1.5 ページ形式	38
4.1.6 給紙方法	39
4.1.7 メディア	40
4.1.8 部数・部単位	40
4.1.9 印刷の最適化	40
4.1.10 連続紙左端余白	41
4.1.11 上端余白	41
4.1.12 カスタム用紙余白	41
4.1.13 連続紙セットフリー	42
4.1.14 かんたん印字位置合わせ	43
4.1.15 以前のレイアウト条件を使用する	44
4.1.16 印刷品質	45
4.1.17 排出トレイ	45
4.1.18 濃淡	45
4.1.19 180 度回転	46
4.1.20 2 色カラー	46
4.1.21 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	47
4.1.22 バーコードの印字方法	50

4.2 リモートパネル 54

4.2.1 リモートパネルの起動 54

4.2.2 プリンターの機能設定 55

4.3 ステータスマニター 59

4.3.1 ステータスマニターの起動 59

4.3.2 表示ウィンドウ 60

4.3.3 状態表示一覧 62

5 トラブルシューティング 64

5.1 インストーラ 64

5.2 プリンタードライバ 65

5.3 リモートパネル 68

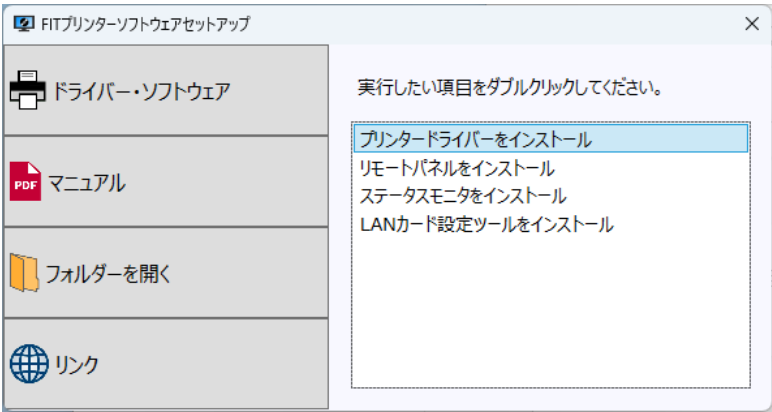
5.4 ステータスマニター 69

1 はじめに

1.1 概要

本書は、弊社プリンター製品のドライバー・ソフトウェアのインストール方法や使い方等を説明しております。

本製品には、「セットアップディスク」が添付されています。
セットアップディスクをパソコンにセットすると、次の画面が自動的に表示されます。本画面から、プリンタードライバーやソフトウェアのインストール、取扱説明書などのマニュアルの表示等が行えます。



機能	内容
ドライバー・ソフトウェア	プリンタードライバー及び対象ソフトウェアのインストーラを起動します。
マニュアル	取扱説明書等の各マニュアルを表示します。 ※ マニュアル閲覧には PDF ファイル表示用のアプリケーションが必要です。
フォルダーを開く	セットアップディスクのフォルダーをエクスプローラーで開きます。
リンク	会社ホームページ等を開きます。 ※ インターネット接続が必要です。

1.2 対象ソフトウェア

以下のドライバー、ソフトウェアを対象としています。

ソフトウェア名	内容
プリンタードライバー	Windows アプリケーション（Word、Excel など）から印刷するための、プリンタードライバーです
リモートパネル	プリンターの各種設定をパソコンからリモートに行う、ユーティリティソフトウェアです。
ステータスマニター	プリンターの状態を表示するソフトウェアです。 ※ プリンタードライバーのインストールが必要です。
LAN カード設定ツール	プリンターの LAN（PR-LN4S）の設定やプリンターポートの作成を行うためのソフトウェアです。

<ガイド>

- ・ LAN カード設定ツールのインストール方法、および設定方法については、「LAN カード(PR-LN4S)ソフトウェアガイド」をお読みください。

1.3 商標について

記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

1.4 動作環境

以下のオペレーティングシステム(以降 OS)上で動作します。

製品名称	略記
Microsoft® Windows® 10	Windows 10
Microsoft® Windows® 11	Windows 11
Microsoft® Windows Server® 2016	Server 2016
Microsoft® Windows Server® 2019	Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2022	Server 2022
Microsoft® Windows Server® 2025	Server 2025

<注意事項>

- ・ 対応 OS について
モバイルや RT、Server Core など、一部のエディションには対応しておりません。
また、対応 OS より古い OS で使用する場合は、弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。
- ・ パソコンの BIOS 設定について
本プリンターを接続するパソコンの平行ポート設定は必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- ・ USB 接続
本プリンターの USB インターフェイスは、USB2.0 仕様です。本プリンターを接続するパソコンが USB 機器に対応していることを確認してください。
確認方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- ・ Windows をアップグレードまたはダウングレードする場合
現在お使いの Windows OS を、異なる Windows OS へアップグレードまたはダウングレードするときは、プリンタードライバー及び各ソフトウェアを削除してから行ってください。
また、アップグレードまたはダウングレード終了後、再度プリンタードライバー及び各ソフトウェアをセットアップしてください。
インストールされた状態で Windows のアップグレードやダウングレードを行うと、正しい印字が行えない、各ソフトウェアが提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。
- ・ 「Windows で保護された印刷モード」（WPP）をご使用の場合
WPP が有効の場合、Microsoft 製以外のプリンタードライバーは削除され、新しいドライバーをインストールすることはできません。そのため、WPP は無効にしてご使用ください。

2 インストール

2.1 本書での説明表記について

本書での説明において“fit7850Pro”を例に挙げて記載しています。
その他のプリンターをご使用の場合は、読み換えてください。

OS により手順(説明内容)が異なる場合がありますので、
以下を参照し、ご使用の OS に該当する表現に読み換えてください。

プリンターフォルダー

OS	手順
Windows 11 Server 2025	(1) デスクトップ画面の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。 (2) [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー]をクリックします。
Windows 10 Server 2016～2022	(1) デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。 (2) [設定] → [デバイス]→ [プリンターとスキャナー]をクリックします。

プリンターのプロパティ

OS	手順
Windows 11 Server 2025	「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
Windows 10 Server 2016～2022	「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] をクリックします。

プリンターキューを開く

OS	手順
Windows 11 Server 2025	(1) 「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターをクリックし、[その他のデバイスとプリンターの設定] をクリックします。 (2) デバイスとプリンター画面から「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターを右クリックし、メニューから[印刷ジョブの表示]をクリックします。
Windows 10 Server 2016～2022	「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターをクリックし、[キューを開く] をクリックします。

すべてのアプリ

OS	手順
Windows 11 Server 2025	デスクトップ画面の Windows ロゴがついたボタン  をクリック→[すべてのアプリ]をクリックします。
Windows 10 Server 2016～2022	デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。

プログラムのアンインストール

OS	手順
Windows 11 Server 2025	(1) デスクトップ画面の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。 (2) [設定] → [アプリ] → [インストールされているアプリ]をクリックします。
Windows 10 Server 2016～2022	(1) デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。 (2) [設定] → [アプリ]→ [アプリと機能]をクリックします。

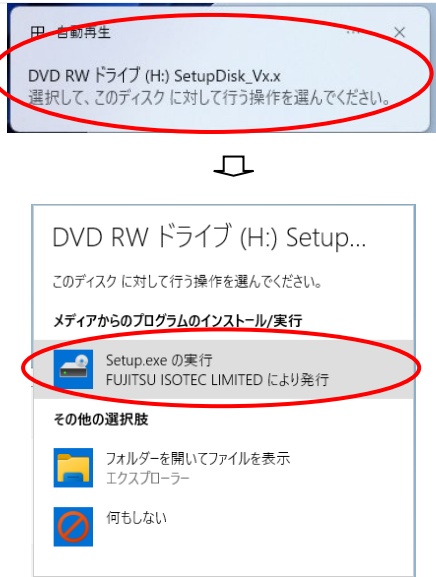
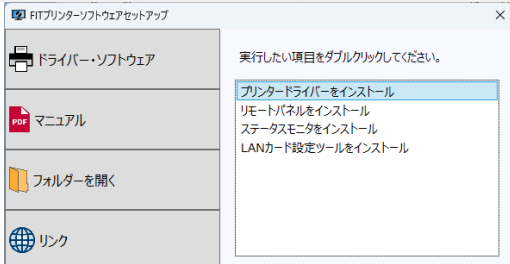
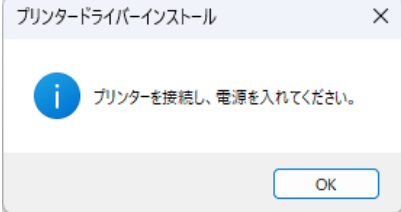
2.2 インストールを始める前に

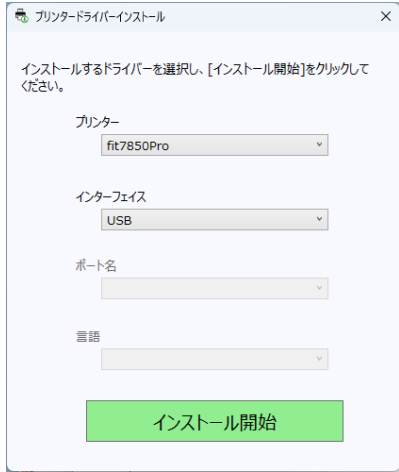
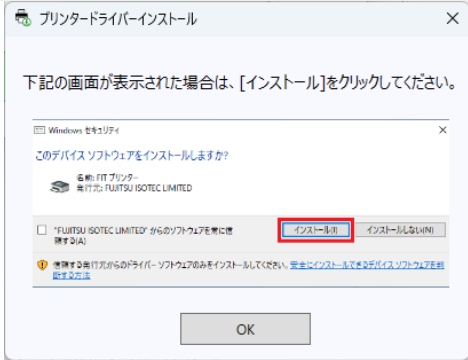
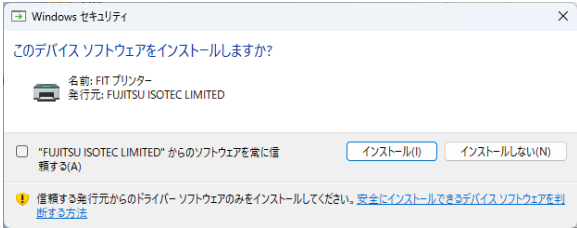
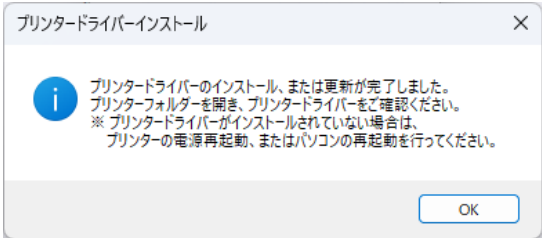
- **インストールを行う際には、必ず Administrator 権限をもったアカウントでログオンしてください。**
- **プリンタードライバー／各ソフトウェアがインストールされている場合**
既にプリンタードライバー／各ソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールを行ってからインストールを行ってください。
アンインストール方法については、「3. アンインストール」を参照してください。
- **本手順で使用するインストーラは、.NET Framework 4.6.2 以上の環境が必要となります。**
必要に応じて Microsoft 社ホームページからダウンロード及びインストールを行ってください。
- **セットアップディスクの起動について**
セットアップディスクをパソコンの CD または DVD ドライブにセットすると、「このディスクに対して行う操作を選んでください。」などのメッセージ画面が表示されます。このメッセージをクリックして表示される画面で、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択すると、デスクトップ画面に切り替わり、セットアップディスクの一番上の階層が表示されますので、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
このメッセージ画面はしばらくすると消えてしまいます。そのときは、「エクスプローラー」などを使用して CD または DVD ドライブを開き、一番上の階層にある「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたときは、[はい]をクリックしてください。**
- **LAN 環境でプリンターをお使いになる場合**
あらかじめ接続するネットワークポートを作成してから本セットアッププログラムを実行してください。
ネットワークポートの作成方法は、LAN カード(オプション: PR-LN4S)のソフトウェアガイドを参照してください。

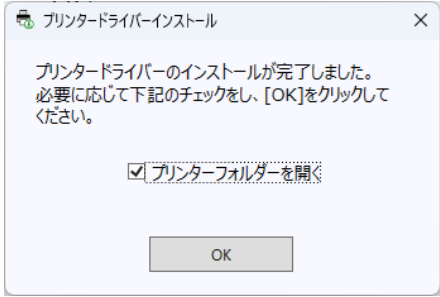
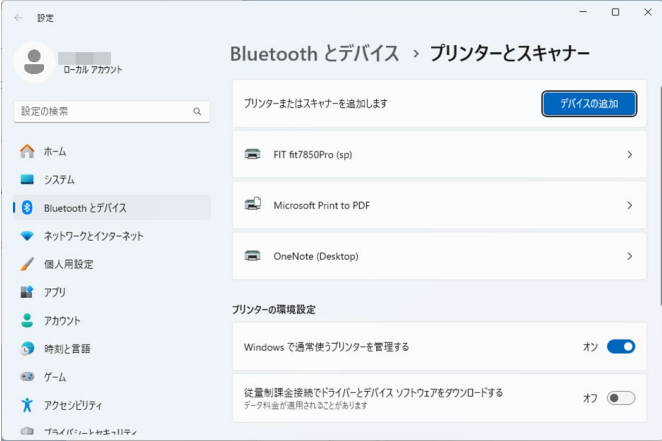
2.3 プリンタードライバー

2.3.1 インストール手順

インストールは以下の手順で行ってください。(fit7850Pro を例に説明します。)

1		「セットアップディスク」を CD ドライブに挿入します。 トースト通知をクリックし、[Setup.exe の実行]をクリックします。 [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合には、[はい]をクリックします。
2		[ドライバー・ソフトウェア]をクリックし、“プリンタードライバーをインストール”をダブルクリックします。
3		パソコンとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。 その後、[OK]をクリックします。

4		使用するプリンター、インターフェイス、ポート名等の設定項目を選択し、[インストール開始]をクリックします。 <ガイド> ・ステータスマニターを使用する場合には、プリンター選択項目で、“fit7x50Pro (ステータスマニター用)”を選択してください。 ・LAN をご使用の場合、プリンターポートを作成していない場合は、“仮ポート(LPT1:)”を選択してください。
5		左記内容を確認し、[OK]をクリックします。
6		インストールの確認を求める画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。
7		左記メッセージが表示された場合は、インストール完了です。[OK]をクリックします。

8		必要に応じて、“プリンターフォルダーを開く”にチェックを入れ、[OK]をクリックします。 [OK]クリック後、プリンタードライバーインストーラの初期画面に戻りますので、インストーラを終了させます。
9		“プリンターフォルダーを開く”にチェックを入れた場合は、プリンターフォルダーが表示されます。 必要に応じて、プリンタードライバーの設定変更や、テストページ印刷等を行ってください。

<ガイド>

- ・プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターの電源再起動やパソコンの再起動を行ってください。
- ・LAN インターフェイスで使い、 仮ポート(LPT1:) でインストールを行った場合は、プリンターポートを作成後、プリンタードライバーのポートを変更してご使用ください。

2.3.2 インストール確認

プリンタードライバーのインストール確認は、以下の手順により行います。

1		[プリンターフォルダー](※)画面を表示させます。 ※各 OS における画面の表示方法については、「2.1 本書での説明表記について」の[プリンターフォルダー]を参照ください。
2		「FIT fit7850Pro (sp)」の[プリンターのプロパティ](※)画面を表示させます。 ※各 OS における画面の表示方法については、「2.1 本書での説明表記について」の[プリンターのプロパティ]を参照ください。
3		「FIT fit7850Pro (sp)」のプロパティ画面で、[テストページの印刷]をクリックします。 テストページが印刷されます。 <ガイド> ・プリンタードライバーの初期値は、「給紙方法:自動選択」, 「用紙サイズ:A4」となっていますので、A4 単票を準備の上、テストページを印字してください。 ・初期値以外の用紙を使用するときは、設定を変更した後で、テストページを印字してください。

2.3.3 テストページが印刷されない場合

テストページの印字が行えないときは、以下の確認を行ってください。

■プリンターの状態とプリンターケーブルの接続を確認する

- ・プリンターの電源が入っていますか。
- ・パラレルケーブル/USB ケーブル/LAN ケーブルは、正しく接続されていますか。
- ・プリンターがエラー状態になっていませんか。
- ・プリンターがオフライン状態になっていませんか。

■プリンタードライバーの設定を確認する

- ・ポートの設定は正しいか、「プリンターのプロパティ」の「ポート」シートで、プリンターポートを確認します。
- ・プリンタードライバーが、「停止中」、「一時停止」、または「オフラインで使用する」と表示されていませんか。

下記方法で、プリンタードライバーの状態を確認します。

1. プリンターフォルダーを開きます。

各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の [プリンターフォルダー] を参照ください。

2. エラーが発生しているプリンタードライバーのプリンターキューを開きます。

各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の [プリンターキューを開く] を参照ください。

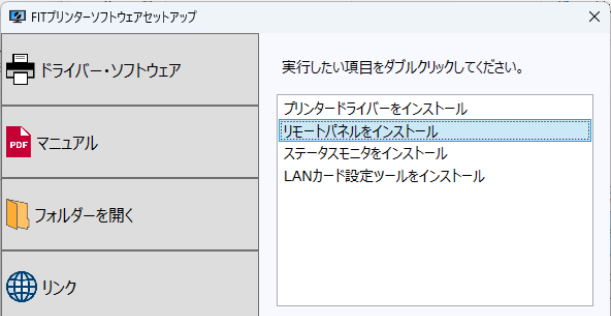
3. 表示されたウィンドウや状態に、[停止中]、[一時停止]、または[オフラインで使用する]と表示されていないか確認します。

- [停止中]、[一時停止]と表示されているとき「プリンター」メニュー、および「ドキュメント」メニューの、「一時停止」をクリックして解除します。
- [オフラインで使用する]と表示されているとき、「プリンター」メニューの、「プリンターをオフラインで使用する」をクリックして解除します。

2.4 ソフトウェア

2.4.1 インストール手順

インストールは以下の手順で行ってください。

1		「セットアップディスク」を CD ドライブに挿入します。 トースト通知をクリックし、[Setup.exe の実行]をクリックします。 [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合には、[はい]をクリックします。
2		[ドライバー・ソフトウェア]をクリックし、インストールを行うソフトウェアの項目をダブルクリックします。
3		ソフトウェアのインストーラが起動します。 以降は画面の指示に従って、ソフトウェアをインストールしてください。

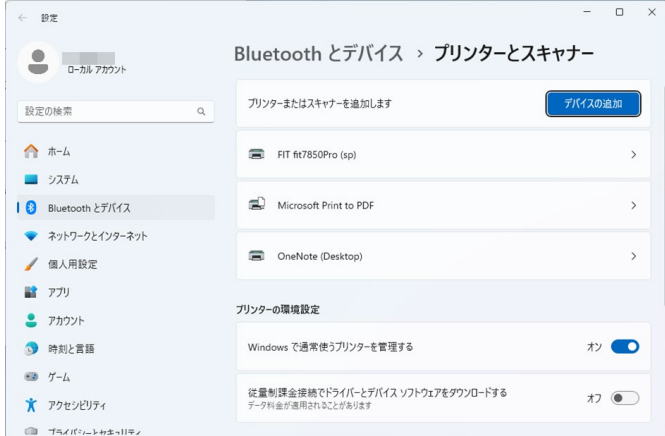
3 アンインストール

3.1 プリンタードライバー

プリンタードライバーの削除は以下の手順により行います。(fit7850Pro を例に説明します。)

- [ユーザーアカウント制御]ダイアログが表示された場合には、[はい]をクリックしてください。

削除手順：

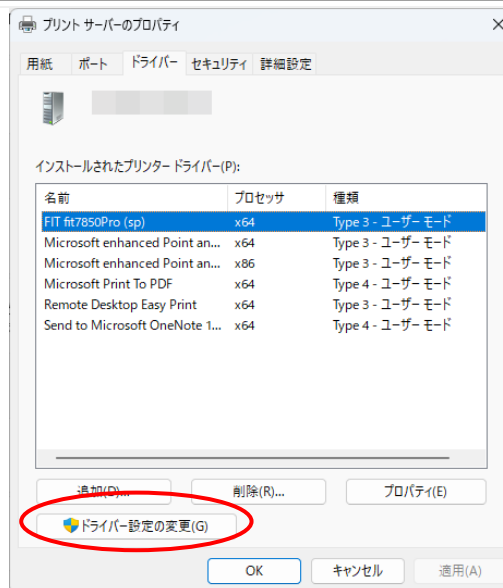
1		プリンターフォルダー(※)を開きます。 ※各 OS における画面の表示方法については、「2.1 本書での説明表記について」の[プリンターフォルダー]を参照ください。
2		「FIT fit7850Pro (sp)」をクリックし、[削除]をクリックします。
3		[はい]をクリックします。

4



プリンターとスキャナーにある、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。

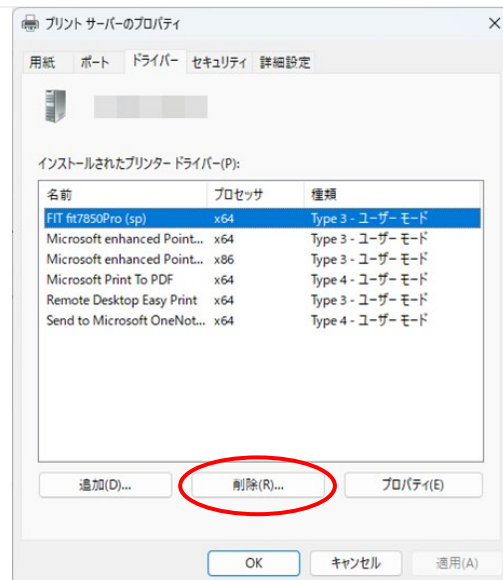
5



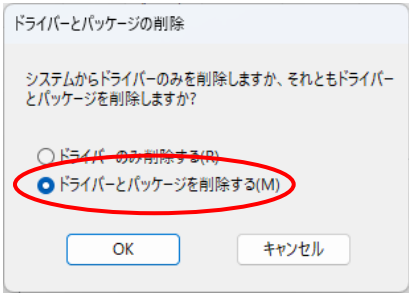
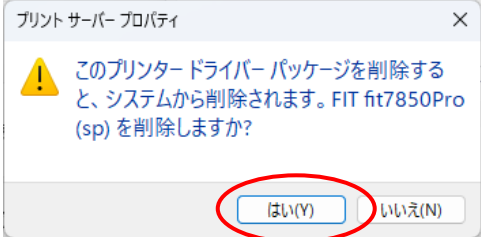
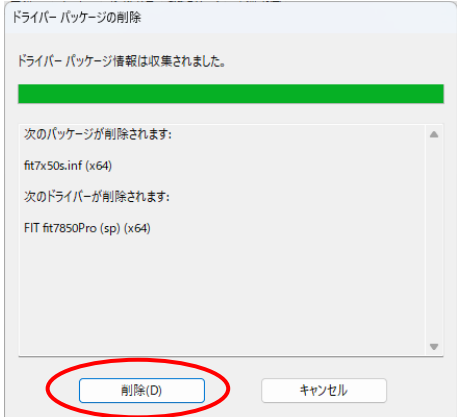
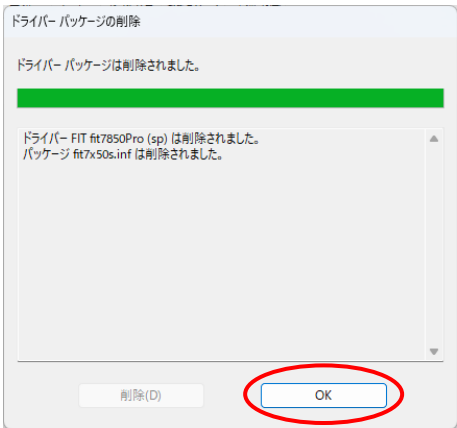
[ドライバー]タブをクリックし、[ドライバー設定の変更]ボタンをクリックします。

【Server OS の場合】
[ドライバー]タブをクリックします。

6



「インストールされたプリンタードライバー」リストから、「FIT fit7850Pro (sp)」を選択し、[削除]をクリックします。

7		[ドライバーとパッケージを削除する]を選択し、[OK]をクリックします。
8		[はい]をクリックします。
9		[削除]をクリックします。
10		ドライバーの削除が終わったら[OK]をクリック後、[閉じる]をクリックし[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログを終了します。 その後、プリンターの電源をOFFにして、パソコンを再起動します。

<ガイド>

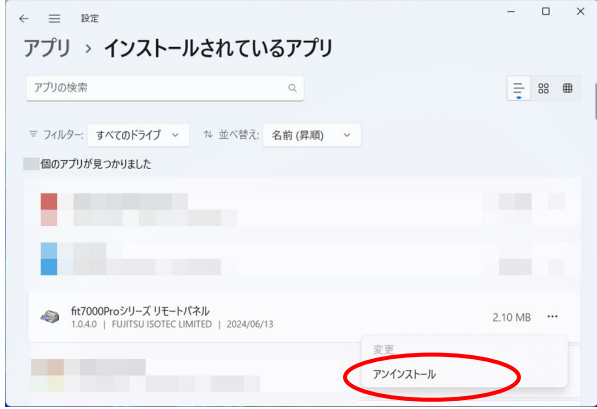
- ・プリンタードライバーまたはプリンタードライバーパッケージが削除できない場合は、「5. トラブルシューティング」- 「5.2 プリンタードライバー」の「プリンタードライバーが削除できない。」「プリンタードライバーパッケージが削除できない。」を参照してください。

3.2 ソフトウェア

ソフトウェアの削除は以下の手順により行います。

例として、fit7000Pro シリーズリモートパネルの削除方法を記載します。その他のソフトウェアを削除する際は、読み換えてください。

- アンインストールを行う際は、必ず削除するソフトウェアを終了させてから行ってください。

1		プログラムのアンインストール(※)画面を開きます。 ※各 OS における画面の表示方法については、「2.1 本書での説明表記について」の[プログラムのアンインストール]を参照ください。
2	 	“ fit7000Pro シリーズリモートパネル”の横にある、: をクリックし、“アンインストール”をクリックします。
3		ファイル削除の確認画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

<ガイド>

- ・アンインストールできない場合は、「5. トラブルシューティング」 - 「5.3 リモートパネル」または「5.4 ステータスマニター」の「アンインストールができない」を参照してください。

4 機能説明

4.1 プリンタードライバ

プリンタードライバの設定方法や設定項目について説明します。

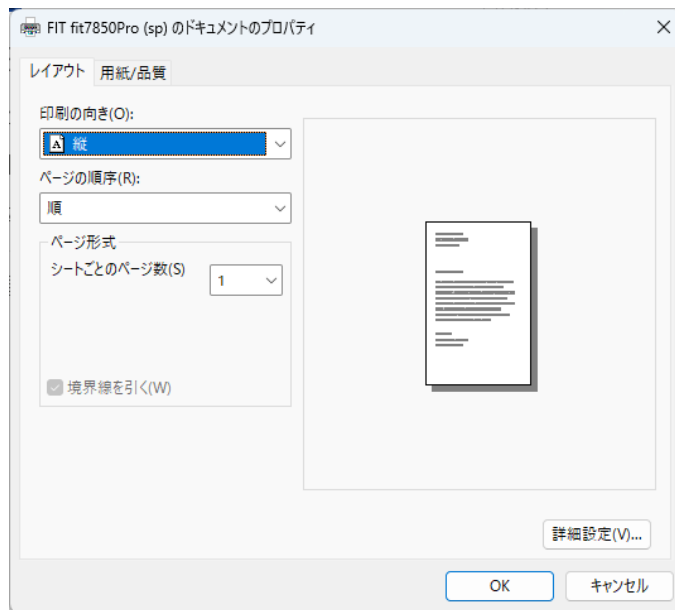
4.1.1 プリンタードライバの設定

ここでは、プリンタードライバの設定画面について説明します。
プリンタードライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」で行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

<ガイド>

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印字に関する設定（プリンタードライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印字されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
 - * アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ・ 本プリンタードライバは、ファームウェア版数 02B 以降に対応しています。それ以前の版数のファームウェアでは対応しておりません。（お使いの製品に添付されていた CD をご利用の場合は対応しています。弊社ホームページからダウンロードしてお使いの場合で正常に印刷されない場合は、受付窓口までお問合せください。受付窓口につきましては取扱説明書（プリンター編）の「5.10 アフターサービス」を参照ください。）
- ・ ここでは、Windows 11 で、FIT fit7850Pro (sp)プリンタードライバの画面を例に説明しています。異なるモデルをお使いの時は、お使いのモデルに読み替えてください。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンターの設定項目から表示するプリンターのプロパティです。

印字時に用紙サイズや解像度などの印字に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンター設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1. ワードパッドのアプリケーションメニューから、〔印刷〕を選択する
2. 印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンターを選択し〔詳細設定〕を選択する
3. 目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。
4. 〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる
〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆ プリンターのプロパティ



デバイスの設定やポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1. プリンターフォルダーを開きます。
※ 各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の[プリンターフォルダー]を参照ください。
2. プリンターのプロパティを開きます。
※ 各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の[プリンターのプロパティ]を参照ください。
3. 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

<ガイド>

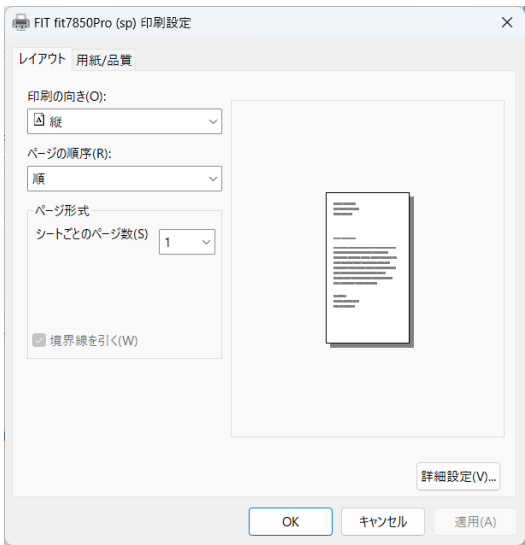
- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
(1) 設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FIT fit7850Pro (sp)デバイスの設定〕を右クリックします。
〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。(〔デバイスの設定〕タブのみ有効)
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ ダイアログ一覧

＜ガイド＞

- ・ 本書では、プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般〕, 〔共有〕, 〔ポート〕, 〔詳細設定〕, 〔色の管理〕, 〔セキュリティ〕 タブの内容については、Windows OS の取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- ・ (※1)とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
- ・ (※2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

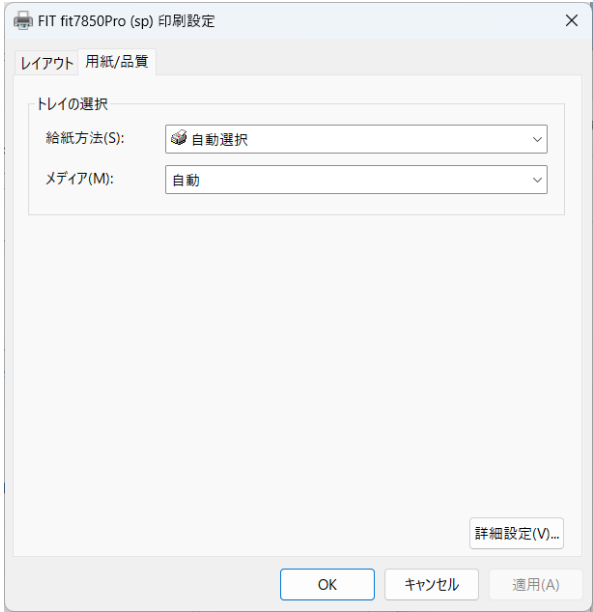
〔レイアウト〕 (※1)



印刷の向き、ページの順序、シートごとのページ数など、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内容
印刷の向き	印字の向きを指定します。
ページの順序	印字するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印字するのかを指定します。
境界線を引く	シートごとのページ数で、複数ページを割り付けたときにページ境界線を引くかを指定します。

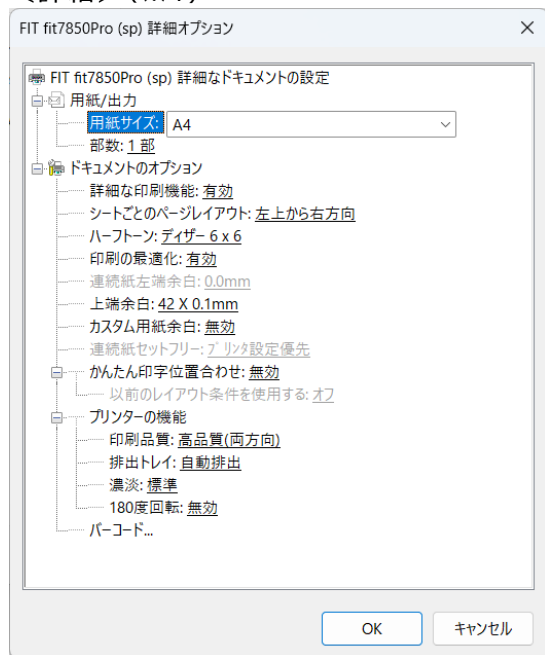
〔用紙/品質〕（※1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 「自動選択」のまま印字すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズ of 用紙が割り当てられている給紙方法で印字します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印字します。
メディア	用紙厚調整の方法を設定します。 プリンター装置側の用紙厚調整の設定が「シットウ」または「自動」に設定されている場合のみ、本設定が有効になります。 - 自動：用紙厚を自動で調整します。 - fit7850Pro/fit7650Pro の場合 1mm 1～1mm D：用紙厚を指定の厚さに設定します。 - fit7450Pro の場合 1枚厚～8枚厚：用紙厚を指定の厚さに設定します。 - プリンタ設定優先：プリンターで設定されている用紙厚に従います。

〔詳細〕（※1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	内容	
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ数〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ数〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で「1」以外を選択した時のページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印字結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。
	連続紙左端余白	連帳用紙の左端余白量を設定します。本項目は、連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。
	上端余白	用紙の上端余白量を設定します。設定可能な範囲は、0.0mm～51.0mmです。

設定項目	内容	
ドキュメントのオプション	カスタム用紙余白	プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成したときに設定した余白を有効化します。 左右の余白量の違いで印字位置がずれるときは、プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成し上下左右余白を設定し、本項目を「有効」にしてください。
	連続紙セットフリー	プリンター装置で連帳用紙のセットフリー機能を有効化したとき、本項目を「有効(左余白 11.3mm)」または、「プリンタ設定優先」にします。連帳用紙をセットフリーで動作するときに適切な左右余白量になります。 本項目は、連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。
	かんたん印字位置合わせ	本設定を「有効」にすることで、印刷実行時に[かんたん印字位置合わせ]のアプリケーションが起動します。 [かんたん印字位置合わせ]アプリケーションでは、印刷結果を画面表示し画面上で印刷位置の調整が行えます。 実際に印刷を行い、印刷位置を確認する手間が省ける効果があります。
	以前のレイアウト条件を使用する	本設定を「有効」にすることで、印刷実行時に[かんたん印字位置合わせ]アプリケーションを起動せず、以前のレイアウト情報(上端余白、左端余白)を使用します。 印刷実行時の都度[かんたん印字位置合わせ]で調整する手間を省き、前回の[かんたん印字位置合わせ]の設定が反映されます。

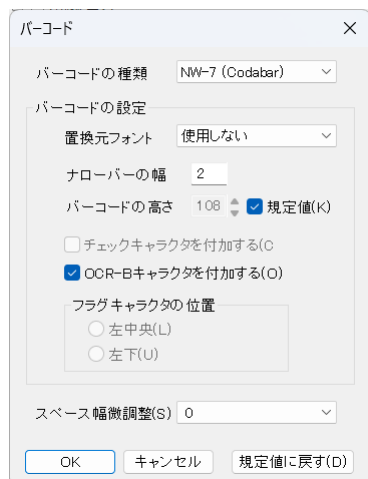
設定項目	内容		
ドキュメントのオプション	プリンターの機能	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質(両方向) : 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質(片方向) : 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速(両方向) : 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速(片方向) : 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音(両方向) : 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音(片方向) : 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先(両方向) : 印字方向は両方向、印刷品質はプリンターの設定に従います。 ・プリンタ設定優先(片方向) : 印字方向は片方向、印刷品質はプリンターの設定に従います。
		排出トレイ	用紙の排出方法を設定します。 ・自動排出 : プリンターの操作パネルで指定した排出方法になります。 ・手前排出 : 単票テーブル側に排出します。 ・後方排出 : リアスタッカーに排出します。

注1) プリンタードライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンターの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンターの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタードライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

設定項目	内容		
ドキュメントのオプション	プリンターの機能	濃淡	印字圧の設定をします。 ・標準 : 標準の印字圧で印字します。 ・高複写 1 または 高複写: 高複写の印字圧で印字します。 ・高複写 2 : 2 度打ちにより高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印字します。 ・プリンタ設定優先: プリンターで設定されている印字圧に従います。
		180 度回転	180 度回転して印字します。
		2 色カラー (注 2)	カラー印字を有効にするかしないかについて設定します。 「有効」にすると、黒/赤の 2 色カラーで印字できます。
	バーコードのプロパティ		〔バーコード〕ダイアログを表示します。本ダイアログでは、バーコードの書式設定を行います。

注2) fit7450Pro の場合、黒/赤印字は、リボン切替えユニットが搭載されているときのみ印字できます。
 リボン切替えユニットが操作されていないとき、本設定を「有効」にしても、2 色印字は行われません。

〔バーコード〕（※1）



バーコード

バーコードの種類: NW-7 (Codabar)

バーコードの設定

置換元フォント: 使用しない

ナローバーの幅: 2

バーコードの高さ: 108 ☒ 規定値(K)

☐ チェックキャラクタを付加する(C)

☒ OCR-Bキャラクタを付加する(O)

フラグキャラクタの位置

☐ 左中央(L)

☐ 左下(U)

スペース幅微調整(S): 0

OK キャンセル 規定値に戻す(D)

バーコードの書式設定を行います。

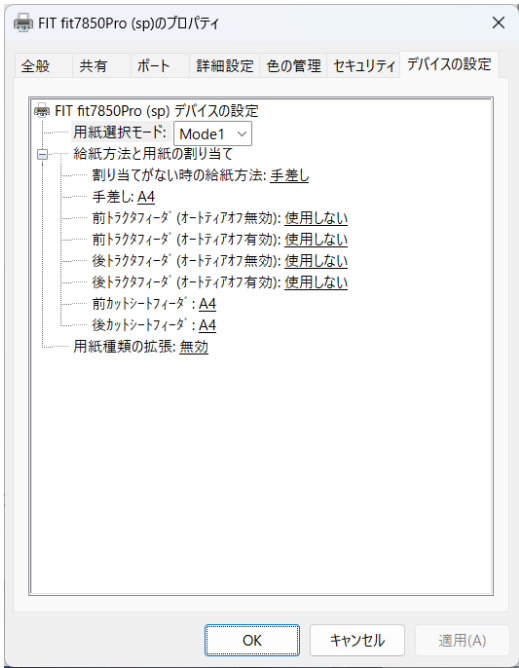
設定項目	内容	
バーコードの種類	書式設定を行うバーコード選択します。 選択したバーコードによって、「バーコードの設定」の内容が変わります。 プリンタードライバーは、下記バーコードに対応しています。 -NW-7 (Codabar) -EAN13 (JAN 標準) -EAN8 (JAN 短縮) -CODE 3 of 9 -Industrial 2 of 5 -Interleaved 2 of 5 -Matrix 2 of 5 -UPC-A -UPC-E -CODE128 -カスタマバーコード -QRコード	
バーコードの設定 (注 1)	置換元フォント	バーコードの種類で選択したバーコードのバーコードフォントと、置換元フォントで選択したフォントをバーコードに変換して印字します。
	ナローバーの幅	ナローバー(細バー)の幅を指定します。
	バーコードの高さ	バーコードの高さを指定します。 [規定値]にチェックを付けると、ナローバーの幅で設定されている値の規定の高さとなります。
	チェックキャラクタを付加する	チェックを付けると、バーコードにチェックキャラクターを付加します。 選択したバーコードの種類によっては、設定できません。

注1) 「バーコードの設定」の内容は、書式設定を行うバーコード毎に異なります。
「バーコードの設定」の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください

設定項目	内容	
バーコードの設定 (注 1)	OCR-B キャラクタを付加する	チェックを付けると、バーコードに OCR-B キャラクターを付加します。
	フラグキャラクタの位置	フラグキャラクターの位置を指定します。選択したバーコードの種類によっては、設定できません。
	セルサイズ	セル(QR コードを構成する黒白の四角)のサイズを指定します。
	モデル番号	QR コードのモデルを指定します。
	誤り訂正レベル	QR コードの誤り訂正レベルを指定します。
スペース幅微調整	バーコードのスペース幅の調整値を設定します。 カスタマバーコード、QR コードを選択しているときは、設定できません。	
規定値に戻す	バーコードの種類で選択されているバーコードの設定を規定値(初期値)に戻します。	

注1) 「バーコードの設定」の内容は、書式設定を行うバーコード毎に異なります。
「バーコードの設定」の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください

〔デバイスの設定〕（※2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内容
給紙方法と 用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。 給紙方法で「自動選択」を指定し、同一サイズ of 用紙を複数の給紙方法に割り当てられているときは、「手差し」>「トラクタフィーダー」>「カットシートフィーダー」の順に優先度が高くなります。指定された用紙がどの給紙方法にも割り当てられていないときは、「割り当てがない時の給紙方法」で指定されている給紙方法で給紙します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印字中に給紙口が切り替ったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。
用紙種類の拡張	本設定を「有効」にすることで、プリントサーバープロパティで登録されている用紙サイズが全て使用可能となります。 （fir7x50Pro シリーズで定義している用紙サイズ以外のものも全て使用可能となります） 以前に使用していたプリンターで作成したアプリケーションのフォームをそのまま利用できる効果があります。

注1) プリントサーバープロパティで登録されている用紙を削除すると、その用紙は使用できなくなります。

4.1.2 印字可能領域

このプリンタードライバーで使える用紙サイズおよび印字範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A3 横	420.00	297.00	297.00	420.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A4 横	297.00	210.00	210.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A5 横	210.00	148.00	148.00	210.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A6 横	148.00	105.00	105.00	148.00
A3 ㇿ 329 x 483 mm	329.00	483.00	-	-
A4 ㇿ 224 x 355 mm	224.00	355.00	355.00	224.00
A4 ㇿ横 355 x 224 mm	355.00	224.00	224.00	355.00
B4(JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B4(JIS)横	364.00	257.00	257.00	364.00
B5(JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
B5(JIS)横	257.00	182.00	182.00	257.00
Letter	215.90	279.40	279.40	215.90
Legal	215.90	355.60	355.60	215.90
はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
はがき横	148.00	100.00	100.00	148.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
往復はがき横	148.00	200.00	200.00	148.00
封筒 長形 2 号 横	277.00	119.00	-	-
封筒 長形 3 号 横	235.00	120.00	-	-
封筒 長形 4 号 横	205.00	90.00	-	-
封筒 長形 5 号 横	185.00	90.00	-	-
封筒 角形 2 号 横	332.00	240.00	-	-
封筒 角形 3 号 横	277.00	216.00	-	-
封筒 角形 4 号 横	267.00	197.00	-	-
封筒 角形 5 号 横	240.00	190.00	-	-
封筒 角形 6 号 横	229.00	162.00	-	-
封筒 角形 7 号 横	205.00	142.00	-	-
封筒 角形 8 号 横	197.00	119.00	-	-
封筒 洋形 1 号 横	176.00	120.00	-	-
封筒 洋形 2 号 横	162.00	114.00	-	-
封筒 洋形 3 号 横	148.00	98.00	-	-
封筒 洋形 4 号 横	235.00	105.00	-	-
封筒 洋形 5 号 横	217.00	95.00	-	-
封筒 洋形 6 号 横	190.00	98.00	-	-

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
封筒 洋形 7 号 横	165.00	92.00	-	-
封筒 US10 (239 x 105 mm)	238.00	105.00	-	-
封筒 German Type (220 x 111 mm)	220.00	111.00		
名刺 55 x 90 mm	55.00	90.00	90.00	55.00
10x11 インチ	254.00	279.40	-	-
10x14 インチ	254.00	355.60	-	-
11x17 インチ	297.40	431.80	-	-
12x11 インチ	304.80	279.40	-	-
15x11 インチ	381.00	279.40	-	-
9x11 インチ	228.60	279.40	-	-
10 x 11inch 連続紙	254.00	279.40	-	-
12 x 11inch 連続紙	304.80	279.40	-	-
15 x 11inch 連続紙	381.00	279.40	-	-
縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙	381.00	25.40	-	-
縦 2 インチ(50.8mm) 連続紙	381.00	50.80	-	-
縦 2.5 インチ(63.5mm) 連続紙	381.00	63.50	-	-
縦 3 インチ(76.2mm) 連続紙	381.00	76.20	-	-
縦 4 インチ(101.6mm) 連続紙	381.00	101.60	-	-
縦 4.5 インチ(114.3mm) 連続紙	381.00	114.30	-	-
縦 5 インチ(127.0mm) 連続紙	381.00	127.00	-	-
縦 5.5 インチ(139.7mm) 連続紙	381.00	139.70	-	-
縦 6 インチ(152.4mm) 連続紙	381.00	152.40	-	-
縦 6.5 インチ(165.1mm) 連続紙	381.00	165.10	-	-
縦 7 インチ(177.8mm) 連続紙	381.00	177.80	-	-
縦 7.5 インチ(190.5mm) 連続紙	381.00	190.50	-	-
縦 8 インチ(203.2mm) 連続紙	381.00	203.20	-	-
縦 8.5 インチ(215.9mm) 連続紙	381.00	215.90	-	-
縦 9 インチ(228.6mm) 連続紙	381.00	228.60	-	-
縦 9.5 インチ(241.3mm) 連続紙	381.00	241.30	-	-
縦 10 インチ(254.0mm) 連続紙	381.00	254.00	-	-
縦 10.5 インチ(266.7mm) 連続紙	381.00	266.70	-	-
縦 11 インチ(279.4mm) 連続紙	381.00	279.40	-	-
縦 12 インチ(304.8mm) 連続紙	381.00	304.80	-	-
縦 12.5 インチ(317.5mm) 連続紙	381.00	313.80	-	-
縦 13 インチ(330.2mm) 連続紙	381.00	330.20	-	-
縦 14 インチ(355.6mm) 連続紙	381.00	355.60	-	-
縦 3 1/3 インチ(84.7mm) 連続紙	381.00	84.70	-	-
縦 3 2/3 インチ(93.1mm) 連続紙	381.00	93.10	-	-
縦 4 1/3 インチ(110.1mm) 連続紙	381.00	110.10	-	-
縦 4 2/3 インチ(118.5mm) 連続紙	381.00	118.50	-	-
縦 5 1/3 インチ(135.5mm) 連続紙	381.00	135.50	-	-
縦 5 2/3 インチ(143.9mm) 連続紙	381.00	143.90	-	-
縦 6 2/3 インチ(169.3mm) 連続紙	381.00	169.30	-	-
縦 10 インチ(3 等分)(84.7mm) 連続紙	381.00	84.70	-	-
縦 11 インチ(3 等分)(93.1mm) 連続紙	381.00	93.10	-	-
縦 11 インチ(4 等分)(69.9mm) 連続紙	381.00	39.90	-	-
縦 11 インチ(5 等分)(55.9mm) 連続紙	381.00	55.90	-	-
縦 11 インチ(6 等分)(46.6mm) 連続紙	381.00	46.60	-	-

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 13 インチ(4 等分)(82.6mm) 連続紙	381.00	82.60	-	-
ターンアラウンド 1 型	304.80	127.00	-	-
ターンアラウンド 2 型	304.80	127.00	-	-
ターンアラウンド 3 型	304.80	152.40	-	-
ターンアラウンド 4 型	304.80	254.00	-	-
チェーンストアタイプ用(No なし)	254.00	127.00	-	-
チェーンストアタイプ用(No あり)	254.00	127.00	-	-
チェーンストアタイプ用 1 型(No なし)	279.40	127.00	-	-
チェーンストアタイプ用 1 型(No あり)	279.40	127.00	-	-
チェーンストア OCR 用(No なし)	254.00	127.00	-	-
チェーンストア OCR 用(No あり)	254.00	127.00	-	-
チェーンストア OCR 用 1 型	304.80	127.00	-	-
チェーンストア OCR 用 2 型	304.80	127.00	-	-
菓子統一伝票(新)	304.80	127.00	-	-
菓子統一伝票(旧)	279.40	127.00	-	-
家電業界統一伝票 E 様式(新)	254.00	127.00	-	-
家電業界統一伝票 E 様式(旧)	254.00	127.00	-	-
百貨店統一伝票タイプ用買取	254.00	127.00	-	-
百貨店統一伝票タイプ用買取(旧)	279.40	127.00	-	-
百貨店統一伝票タイプ用委託	254.00	127.00	-	-
百貨店統一伝票タイプ用 2 型	304.80	152.40	-	-
業際統一伝票	304.80	127.00	-	-
文具統一伝票	281.94	127.00	-	-
ユーザー定義サイズ	55.00～ 420.00	25.40～ 420.00	-	-

注1) 「はがき」は、郵政はがき（公社製(官製)はがき）です。

注2) ユーザー定義サイズ用紙は、プリンターフォルダーを開いて、〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕または〔プリントサーバーのプロパティ〕で作成します。

注3) プリンタードライバースのプロパティでは、上表以外の用紙が表示される場合があります。

<ガイド>

ユーザー定義サイズ用紙について

- ・用紙幅はプリンターにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印字可能範囲内（最大 345.5mm）で使用してください。最大印字可能範囲を越えると、正しく印字されない場合があります。
- ・ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows OS の演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生する場合があります。
その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ（Windows のバージョンによっては長さ
と表示されます）を調整するか、複数ページを 1 つの単位とした用紙を作成してください。

◆ 印字領域

単位：mm

給紙方法	余白(既定値)	
	上端	下端
手差し	(注 1),(注 2)	4.23,(注 2)
前トラクタフィーダ [®] (オートフィード無効)	(注 1),(注 2)	0.00,(注 2)
前トラクタフィーダ [®] (オートフィード有効)	(注 1),(注 2)	0.00,(注 2)
後トラクタフィーダ [®] (オートフィード無効)	(注 1),(注 2)	0.00,(注 2)
後トラクタフィーダ [®] (オートフィード有効)	(注 1),(注 2)	0.00,(注 2)
前カットシートフィーダ [®] (fit7850Pro/fit7650Pro)	(注 1),(注 2)	4.23,(注 2)
後カットシートフィーダ [®] (fit7850Pro/fit7650Pro)	(注 1),(注 2)	4.23,(注 2)
カットシートフィーダ [®] /ヒュー #1 (fit7450Pro)	(注 1),(注 2)	4.23,(注 2)
カットシートフィーダ [®] /ヒュー #2 (fit7450Pro)	(注 1),(注 2)	4.23,(注 2)

注1) 上端余白は、「上端余白」に従った余白となります。

注2) カスタム用紙余白を有効にしたときは、ユーザー定義サイズ用紙作成時に設定した余白になります。

単位：mm

用紙	余白(既定値)	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4, A4 横	5.08	5.08
A5, A5 横	5.08	5.08
A6, A6 横	5.08	5.08
B4(JIS)	5.08	5.08
B4(JIS)横	5.08	13.48
B5(JIS), B5(JIS)横	5.08	5.08
Letter	5.08	5.08
Legal	5.08	5.08
はがき, はがき横	5.08	5.08
往復はがき, 往復はがき横	5.08	5.08
封筒 長形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 長形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 3 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 角形 8 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 1 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 2 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 3 号 横	12.00	12.00

用紙	余白(既定値)	
	左端	右端
封筒 洋形 4 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 5 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 6 号 横	12.00	12.00
封筒 洋形 7 号 横	12.00	12.00
封筒 US10 (239 x 105 mm)	12.00	12.00
封筒 German Type (220 x 111 mm)	12.00	12.00
名刺 55 x 90 mm	5.08	5.08
10x11 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
10x14 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
11x17 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
12x11 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
15x11 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
9x11 インチ	(注 3),(注 4)	(注 3),(注 4)
10 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
12 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
15 x 11inch 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2 インチ(50.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 2.5 インチ(63.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 インチ(76.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 インチ(101.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4.5 インチ(114.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 インチ(127.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5.5 インチ(139.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 インチ(152.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6.5 インチ(165.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7 インチ(177.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 7.5 インチ(190.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8 インチ(203.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 8.5 インチ(215.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9 インチ(228.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 9.5 インチ(241.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(254.0mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10.5 インチ(266.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(279.4mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12 インチ(304.8mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 12.5 インチ(317.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(330.2mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 14 インチ(355.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 1/3 インチ(84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 3 2/3 インチ(93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 1/3 インチ(110.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 4 2/3 インチ(118.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 1/3 インチ(135.5mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 5 2/3 インチ(143.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 6 2/3 インチ(169.3mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 10 インチ(3 等分)(84.7mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(3 等分)(93.1mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)

用紙	余白(既定値)	
	左端	右端
縦 11 インチ(4 等分)(69.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(5 等分)(55.9mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 11 インチ(6 等分)(46.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
縦 13 インチ(4 等分)(82.6mm) 連続紙	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 1 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 2 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 3 型	(注 3)	(注 3)
ターンアラウンド 4 型	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用(No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用(No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 1 型(No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストアタイプ用 1 型(No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用(No なし)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用(No あり)	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 1 型	(注 3)	(注 3)
チェーンストア OCR 用 2 型	(注 3)	(注 3)
菓子統一伝票(新)	(注 3)	(注 3)
菓子統一伝票(旧)	(注 3)	(注 3)
家電業界統一伝票 E 様式(新)	(注 3)	(注 3)
家電業界統一伝票 E 様式(旧)	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用買取	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用買取(旧)	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用委託	(注 3)	(注 3)
百貨店統一伝票タイプ用 2 型	(注 3)	(注 3)
業際統一伝票	(注 3)	(注 3)
文具統一伝票	(注 3)	(注 3)
ユーザー定義サイズ	(注 3)	(注 3)

注3) 左端余白／右端余白は、有効になっている「連続紙左端余白」、「カスタム用紙余白」、「連続紙セットフリー」の何れかに従った余白となります。
右端余白は、下表の通りです。

単位：mm

有効項目	右端余白	
	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm)以下	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm)以上
連続紙左端余白	0.00	最大印字可能 領域を超える 分は全て余白
カスタム用紙余白	用紙作成時に 設定した値	
連続紙セットフリー	11.28	

- 注4) 下記用紙と手差しなど単票系給紙口を組み合わせたときの左右余白は、下表の通りです。

単位：mm

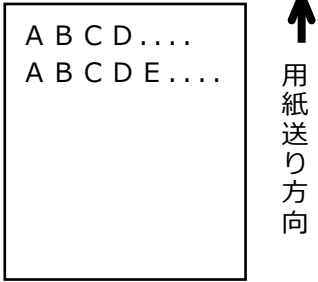
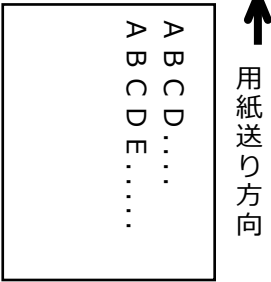
用紙	余白(既定値)	
	左端	右端
10x11 インチ	5.08	5.08
10x14 インチ	5.08	5.08
11x17 インチ	5.08	5.08
12x11 インチ	5.08	5.08
15x11 インチ	5.08	30.48
9x11 インチ	5.08	5.08

<ガイド>

- ・ 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンター編』「4 用紙について」の用紙規格に合わせて調整してください。
- ・ 「縦 1 インチ(25.4mm) 連続紙」～「縦 13 インチ(4 等分)(82.6mm) 連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定しています。使用する場合には『プリンター編』「4 用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダー、フッターの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダー、フッターの位置を調節して印字してください。

4.1.3 印刷の向き

印字方向は、プリンタードライバーの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。

印字方向：縦	印字方向：横
	

<ガイド>

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印字方法が異なる場合があります。

4.1.4 ページの順序

複数ページの文書を印字するときの、ページ順序を設定します。
「逆」を設定すると最終ページから印字します。

4.1.5 ページ形式

1 ページの用紙に何ページ分印字するかの設定と、ページの境界線について設定します。

4.1.6 給紙方法

印字のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

設定項目	内容
手差し	単票テーブルから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前トラクタフィーダ [®] (オートフィード無効)	単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前トラクタフィーダ [®] (オートフィード有効)	単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後トラクタフィーダ [®] (オートフィード無効)	プリンター後面に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後トラクタフィーダ [®] (オートフィード有効)	プリンター後面に装備されている用紙送りトラクターから給紙します。印字終了時にミシン目カット位置まで搬送します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
前カットシートフィーダ [®] (fit7850Pro/fit7650Pro)	フロントカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
後カットシートフィーダ [®] (fit7850Pro/fit7650Pro)	リアカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
カットシートフィーダ [®] /ビン#1 (fit7450Pro)	1 ビンに設定されているカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。
カットシートフィーダ [®] /ビン#2 (fit7450Pro)	2 ビンに設定されているカットシートフィーダーから給紙します。 「上端余白」で設定した値(初期値：4.2mm)が、用紙の上端余白量になります。

<ガイド>

- ・ 『(上端余白量指定)』を「プリンタ優先(プリンタ優先)」にしているときは、『***ウイヨハク (***) 上端余白量)』で設定してある余白量になります。
正しい印字結果を得るには、プリンターの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。
- ※ "****"は、テサ(手差し)など給紙口名となります。
- 変更方法については下記をご参照してください。
fit7850Pro/fit7650Pro : 『プリンター編』「2.8 機能設定を変える」
fit7450Pro : 『プリンター編』「2.7 機能設定を変える」
- ・ 給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙口と異なった給紙方法が指定される場合があります。印字に使用する用紙に合わせ自動選択以外の給紙方法を指定してください。

4.1.7 メディア

印字する用紙の厚さに応じて設定します。

設定項目	内容
自動	プリンター装置が用紙の厚さを自動的に判断します。
インチ 1、… インチ D (fit7850Pro/fit7650Pro)	印字する用紙の厚さを指定します。
1 枚厚、… 8 枚厚 (fit7450Pro)	
プリンタ設定優先	用紙の厚さは、プリンターの設定に従います。

4.1.8 部数・部単位

部数、部単位を設定します。
設定可能な印字部数は、1～9999 部です。

4.1.9 印刷の最適化

印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。

設定項目	内容
有効	ドキュメント内でデバイスフォントとグラフィックが重なっているとき、グラフィックに隠れたデバイスフォントの印刷を行えます。
無効	ドキュメント内でデバイスフォントとグラフィックが重なっているとき、グラフィックに隠れたデバイスフォントの印刷を行いません。

4.1.10 連続紙左端余白

連帳用紙の左端余白を設定します。

設定した値により、右端余白は下表の値となります。

設定項目	右端余白	
	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm)以下	用紙幅が最大 印字可能領域 (345.44mm)以上
0.0mm	0.0mm	最大印字可能領域を 超える分は全て余白
5.0mm		
12.7mm		

4.1.11 上端余白

上端余白量を設定します。

初期値は 4.2mm で、設定可能な範囲は 0.0mm～51.0mm です。

4.1.12 カスタム用紙余白

プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成したときに設定した余白(上下左右)を有効にします。

プリンタードライバ規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、プリントサーバーのプロパティでユーザー定義サイズ用紙を作成するときに上下左右余白を設定し、作成した用紙を選択して、本項目を「有効」にしてください。

本項目を「有効」で使用するときは、プリンターの[余白量設定]で、使用する給紙口の「上端余白量」、および「セットフリー余白量」を 0mm にしてください。

変更方法については下記をご参照してください。

fit7850Pro/fit7650Pro : 『プリンター編』「2.8 機能設定を変える」

fit7450Pro : 『プリンター編』「2.7 機能設定を変える」

<ガイド>

- ・ 印字する際は、本プリンターの印字保証範囲内でお使いください。印字保証範囲外への印字は、印字ヘッドピンが折れる等、プリンターの故障の原因となります。

印字保証外への印字が原因の故障については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

やむを得ず印字保証範囲外に印字するときは、十分な確認を行った上でお使いください。

4.1.13 連続紙セットフリー

本項目を「有効(左余白 11.3mm)」にすると、連帳用紙をセットフリーで動作させるときに 11.3mm の左余白にします。また、「プリンタ設定優先」に設定した場合は、プリンターで設定されたセットフリー設定に従い動作します。

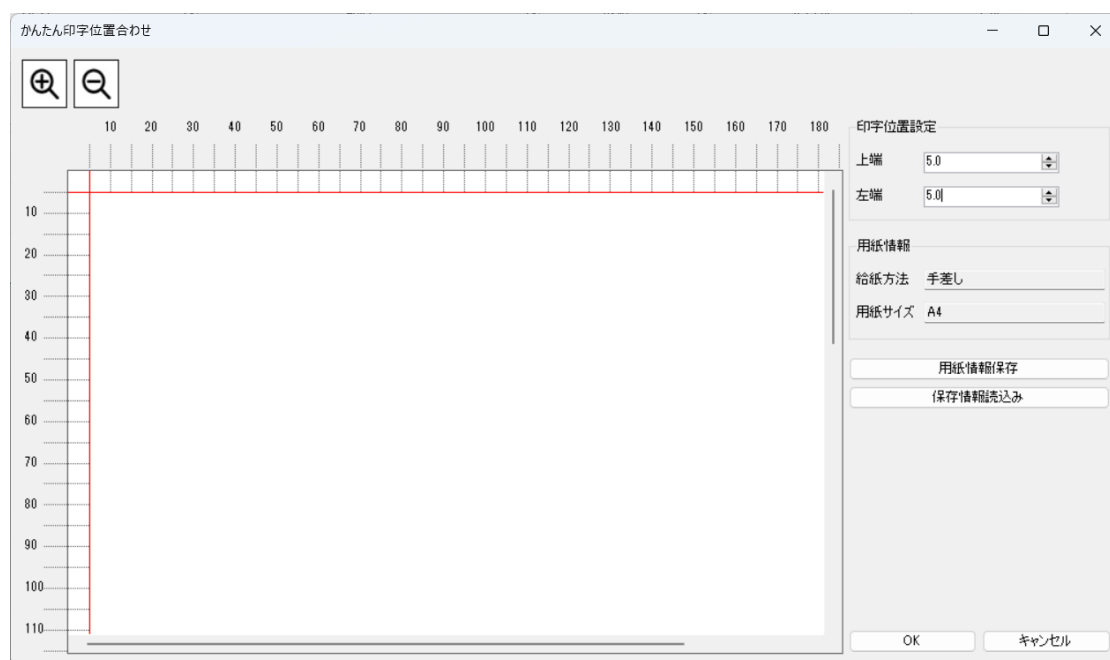
※ 「有効(左余白 11.3mm)」または「無効」設定から「プリンタ設定優先」に変更した場合は、プリンターの電源再投入が必要です。

4.1.14 かんたん印字位置合わせ

本設定を「有効」にすることで、印字実行時に[かんたん印字位置合わせ]のアプリケーションが起動します。

[かんたん印字位置合わせ]アプリケーションでは、印字結果を画面表示し画面上で印字位置の調整が行えます。

実際に印字を行い、印字位置を確認する手間が省ける効果があります。



設定項目		内容
印字位置設定	上端	画面に表示された印字プレビューの上端位置を調整します。（赤のカーソルで表示） ＜初期値：0.0mm／設定範囲：-12.7mm～51.0mm＞
	左端	画面に表示された印字プレビューの左端位置を調整します。（赤のカーソルで表示） ＜初期値：0.0mm／設定範囲：-25.4mm～45.2mm＞
用紙情報	給紙方法	プロパティで設定した給紙方法を表示します。 （この画面での設定変更はできません）
	用紙サイズ	プロパティで設定した用紙サイズを表示します。 （この画面での設定変更はできません）
用紙情報保存		本画面で調整した上端/左端の値を保存します。
保存情報の読み込み		[用紙情報保存]で保存した情報を読み込み印字プレビューに反映します。
 		印字プレビュー表示を拡大/縮小します。

<ガイド>

- ・ 印字プレビュー画面の目盛はミリ単位です。
- ・ 印字する際は、本プリンターの印字保証範囲内でお使いください。印字保証範囲外への印字は、印字ヘッドピンが折れたり、プリンターの故障の原因となります。
印字保証外への印字が原因の故障については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ やむを得ず印字保証範囲外に印字するときは、十分な確認を行った上でお使いください。
- ・ 本設定「有効」時、以下の設定は使用不可となります。
 - ページの順序
 - シートごとのページレイアウト
 - 連帳左端余白
 - 上端余白
 - カスタム用紙余白
 - 連続紙セットフリー
 - 180 度回転
- ・ [かんたん印字位置合わせ]のプレビュー画面にて、以下の表示制限があります。
 - バーコード '|||||||' で表示
 - プリンターフォント . . . '*****' で表示
- ・ アプリケーションによっては、[かんたん印字位置合わせ]の印字プレビュー画面にて、用紙サイズの名称が正しく表示されない場合があります。
印字結果には影響ありませんので、印字開始位置（上／左）の位置決めの用途としてお使いください。
- ・ 本機能を使用するには、".NET Frameworks4.5"以上が必要です。インストールされていない場合には、Microsoft 社ホームページから".NET Frameworks4.5"以上を入手してインストールしてください。

4.1.15 以前のレイアウト条件を使用する

本設定を「有効」にすることで、印刷実行時に[かんたん印字位置合わせ]アプリケーションを起動せず、以前のレイアウト情報(上端余白, 左端余白)を使用します。
印刷実行時の都度[かんたん印字位置合わせ]で調整する手間を省き、前回の[かんたん印字位置合わせ]の設定が反映されます。

4.1.16 印刷品質

印字の品位を設定します。

設定項目	内容
高品質（両方向）	高品質モードで両方向印字を行います。
高品質（片方向）	高品質モードで片方向印字を行います。
高速（両方向）	高速モードで両方向印字を行います。
高速（片方向）	高速モードで片方向印字を行います。
低騒音（両方向）	低騒音モードで両方向印字を行います。
低騒音（片方向）	低騒音モードで片方向印字を行います。
プリンタ設定優先（両方向）	印字方向は両方向、印字品質はプリンターの設定に従います。
プリンタ設定優先（片方向）	印字方向は片方向、印字品質はプリンターの設定に従います。

4.1.17 排出トレイ

用紙の排出方向を設定します。

お使いの Windows OS によっては、排出装置や用紙/出力、出力トレイと表示されます。

設定項目	内容
自動排出	プリンター装置の設定に従って、用紙を排出します。
手前排出	単票テーブルに用紙を排出します。
後方排出	リアスタッカーに用紙を排出します。

4.1.18 濃淡

印字圧を設定します。

設定項目	内容
標準	標準の印字圧で印字します。
高複写 1 (fit7850Pro/fit7650Pro)	標準よりも若干印字圧を落とし、複写能力を上げます。
高複写 (fit7450Pro)	
高複写 2 (fit7850Pro/fit7650Pro)	印字速度を半分以下の落とし、2度打ちによって更に複写能力を上げます。
プリンタ設定優先	プリンターで設定されている印字圧に従います。

4.1.19 180 度回転

ページ単位で、180 度回転して印字します。

<ガイド>

- ・ プリンターフォントやバーコードフォントで指定された文字は、近似の TrueType フォントに置換えて印字します。
- ・ 余白も 180 度回転します。

4.1.20 2 色カラー

本項目を「有効」にすると、黒/赤の 2 色カラーで印字できます。

<ガイド>

- ・ fit7450Pro の場合、黒/赤印字は、カラー印字機構が搭載されているときのみ印字できます。カラー印字機構が操作されていないとき、本設定を「有効」にしても、2 色印字は行われません。

4.1.21 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について、Windows11 の画面を例に説明します。

<ガイド>

- ・ ご使用の Windows のバージョンによっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成して頂くか、お使いの Windows の取扱説明書、ヘルプを参照してください。
- ・ Windows OS で、ユーザー定義サイズ用紙を作成するときは、〔プリントサーバーのプロパティ〕の〔用紙〕タブで〔用紙設定の変更〕ボタンをクリックしてください。
 ** ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときや、[ユーザーアカウント制御（UAC）]を「通知しない」設定にしているときは、本ボタンは表示されません。

1. プリンターフォルダーを開きます。

※ 各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の[プリンターフォルダー]を参照ください。

2. プリンターフォルダー下の〔プリントサーバープロパティ〕を選択します。

※ 各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の[プリントサーバープロパティ]を参照ください。



3. 〔新しい用紙を作成する〕をチェックする

「用紙の説明」や「寸法」のグレーアウトが解除されます。



4. 「用紙名」に作成する用紙名を入力する

ここでは、「fit ユーザー定義」という名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。

プリントサーバーのプロパティ

用紙 ボート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙名: fit ユーザー定義

☒ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存] をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ: 余白:

幅(W): 25.40cm 左(L): 0.00cm 上(T): 0.00cm

高さ(H): 27.94cm 右(R): 0.00cm 下(B): 0.00cm

OK キャンセル 適用(A)

5. 「単位」を選択し、用紙の幅と高さを入力する

ここでは、幅 11 インチ、高さ 10 インチの用紙を作成します。

注 1) プリンタードライバー規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、用紙の幅と高さの入力に合わせ、余白（上下左右）を入力します。プリンタープロパティで、作成した用紙を選択して、「カスタム用紙余白」を「有効」にしてください。

ただし、アプリケーションによっては、「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。そのときは、アプリケーションの「ページ設定」で余白を編集してください。

注 2) 作成可能な用紙幅、高さについては、『プリンター編』 「4 用紙について」、または本章の「印字可能領域」を参照してください。

プリントサーバーのプロパティ

用紙 ボート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙名: fit ユーザー定義

☒ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存] をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☐ メートル法(M) ☒ ヤードポンド法(E)

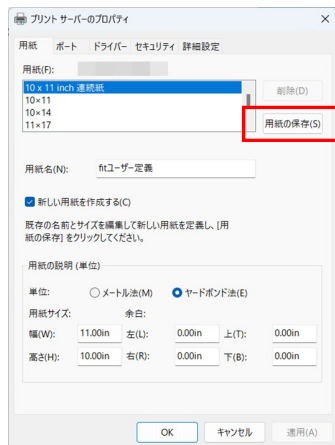
用紙サイズ: 余白:

幅(W): 11.00in 左(L): 0.00in 上(T): 0.00in

高さ(H): 10.00in 右(R): 0.00in 下(B): 0.00in

OK キャンセル 適用(A)

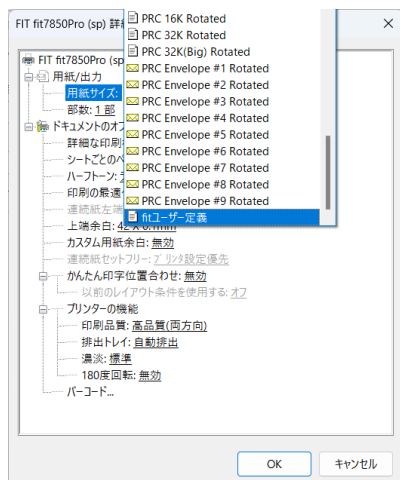
6. 「用紙の保存」をクリックする
「用紙名」に入力した用紙名が、「用紙」欄に追加されます。



7. 「OK」をクリックし、「プリントサーバーのプロパティ」を閉じます。
8. インストールされているプリンタードライバーを右クリックし、「印刷設定」から「詳細設定」を選択する
「用紙サイズ」に作成したユーザー定義サイズ用紙がリストされていることを確認します。

注 1) 作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。

再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。



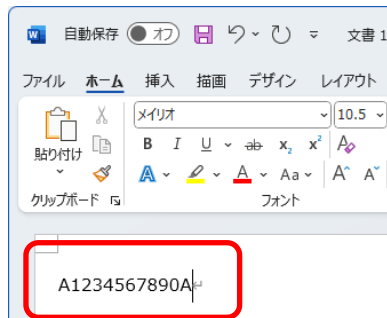
<ガイド>

- 3 ページで用紙長が 10,11,13,14,16 または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合がありますので、プリンタードライバーで指定できる用紙サイズ（3 ページで用紙長が 14 インチなら「縦 4 2/3inch 連続紙」）を設定してください。
- 用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。
例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンターのドットピッチ(1/180 インチ)に従いドットに変換され、807 ドット (Windows では少数点以下第一位切り捨て) となるため、4.5 インチ 810 ドットとは合いません。

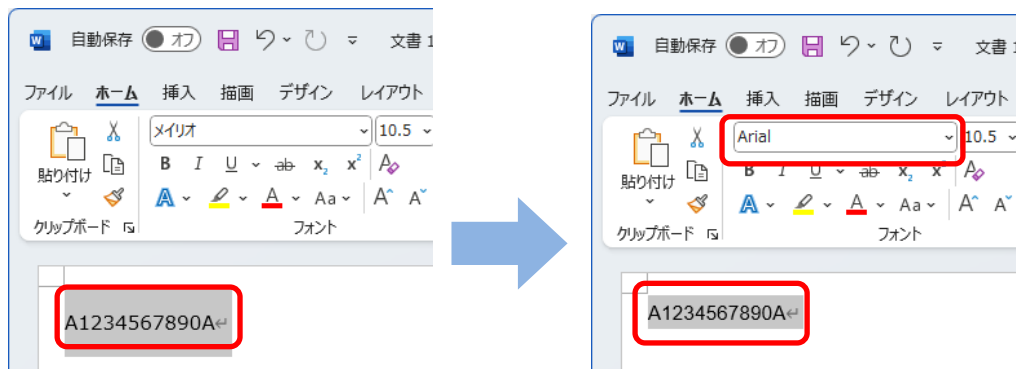
4.1.22 バーコードの印字方法

プリンタードライバーは、バーコード印字をサポートしています。
ここでは、バーコードを印字する方法を説明します。

1. プリンタードライバーをインストールします
2. アプリケーションを起動する
ここでは、Microsoft Word で説明します。
3. アプリケーションの編集画面で、バーコードで印字するデータを入力する



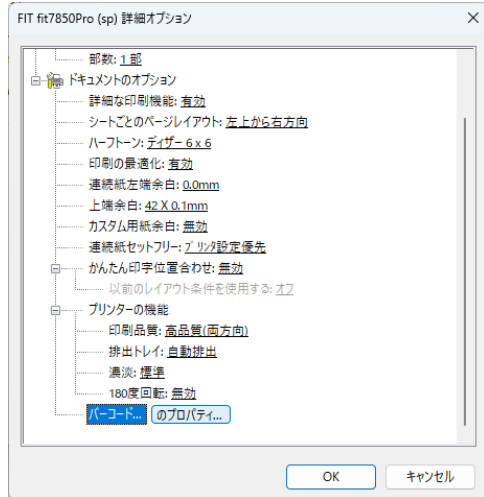
4. 入力データを選択し、アプリケーションのフォント選択リストから印字するフォントを選択する
下記は、Arial を選択したときの例です。



5. Microsoft Word のファイルメニューから「印刷」を選択し、[プリンターのプロパティ]を開きます。



6. [詳細設定...] → [バーコード設定]をクリックし、[プロパティ...]を開きます。



7. バーコードの種類を選択します。(例：NW-7 (Codabar))



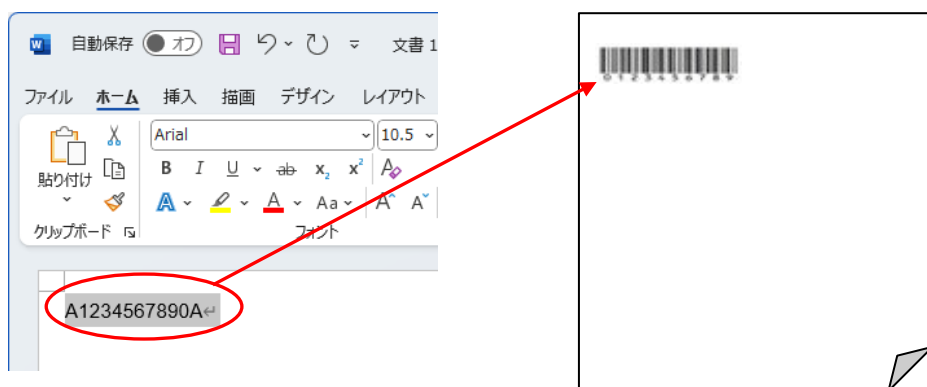
8. 置換元フォントで"Arial"を選択します。



その他のバーコードの設定については、必要に応じて変更します。

9. [OK]をクリックし、プリンタープロパティ画面を閉じます。

10. 印刷を行います。



バーコード印字時の注意事項

バーコード印字には、下記注意事項があります。
内容を良くお読みになり、バーコード印字を行ってください。

- バーコードはプリンター装置側でドットの組合わせで印字するため、本来の規格値との間には多少の差異が生じます。
実際にバーコードリーダーで読み取らせる時は、読み取り可能か否かを十分チェックしてください。
また、印字濃度にも注意してください。
- アプリケーションの画面には、印字後のバーコードが表示されません。
バーコードと周辺の文字が重ならないよう、位置を調整してください。
- 印字領域外にかかるバーコードは印字されません。
印字結果が印字領域内となるよう、位置や文字数を調整してください。
- お使いのアプリケーションによっては、アプリケーションのフォント選択リストにバーコードフォントが表示される場合があります。その時は、バーコードフォントを指定して、印字してください。(置換元フォントの設定は不要です。)
- アプリケーション内のフォント置換により、バーコード指定したフォントが置き換わる場合があります。
- 「シートごとのページ数：1 以外」, 「印刷の最適：無効」のとき、バーコード指定を行っても無効になります。
また、バーコードの印字方向は、片方向のみとなります。
- バーコードを指定したフォントに対し、修飾（太字、斜体、中抜きなど）は行わないでください。
また、縦書きや折り返しされている文字のバーコード指定は無効となります。
- アプリケーションによっては、文字列末尾の全角スペース、半角スペースを正しく通知しない場合があります。
これらのアプリケーションから、末尾に全角スペース、半角スペースを含む文字列をバーコード指定した場合、期待するバーコードと印字結果が異なる場合があります。
- 指定したバーコードが規定の文字数に満たない場合や超える場合は、正しい印字が行われません。

既定の文字数に満たないとき	:	印字は行われません。
既定の文字数を超えるとき	:	既定数までの文字列でバーコードを印字します。
- アプリケーションから EAN13, UPC type A, UPC type E バーコードを印字する時は、アプリケーションの左側印字可能領域から、4mm 以上の位置で指定して下さい。
4mm 以下の位置を指定するとフラグキャラクターが印字されません。
- Code3of9 バーコードの制限事項
 - バーコードを 1 行中に複数印字する場合、アプリケーションによっては、水平タブをプリンタードライバーに正しく通知しない場合があります、一連のバーコードとして印字されます。その際は、バーコード間のフォント指定を MS 明朝等に変更して下さい。
 - アルファベット(A～Z)は、大文字で指定して下さい。
 - スタート,ストップコード(*)はプリンター側で自動的に付加します。
- Interleaved2of5 バーコードの制限事項
 - 文字列の先頭にスタートコード(A,B,C ※半角)を付加して下さい。
文字数が奇数の場合は、プリンター側で文字の先頭に 0 を付加して印字します。
- Code128 バーコードの制限事項
 - 指定する文字数を、偶数として下さい。
スタートコードが無い場合、Code128 バーコードは印字されません。

- QR コードの制限事項

- QR コードは、JIS X 0510(1999)準拠のモデル 1 およびモデル 2 となります。マイクロ QR コードは、株式会社デンソー制定のマイクロ QR となります。
- QR コード印字中は、印字方向指定，高速印字指定，低騒音指定は無効となります。

4.2 リモートパネル

ここでは、fit リモートパネルの機能について説明します。

fit リモートパネルは、プリンターの機能設定と印字ヘッド消耗状況を管理するユーティリティソフトウェアです。

4.2.1 リモートパネルの起動

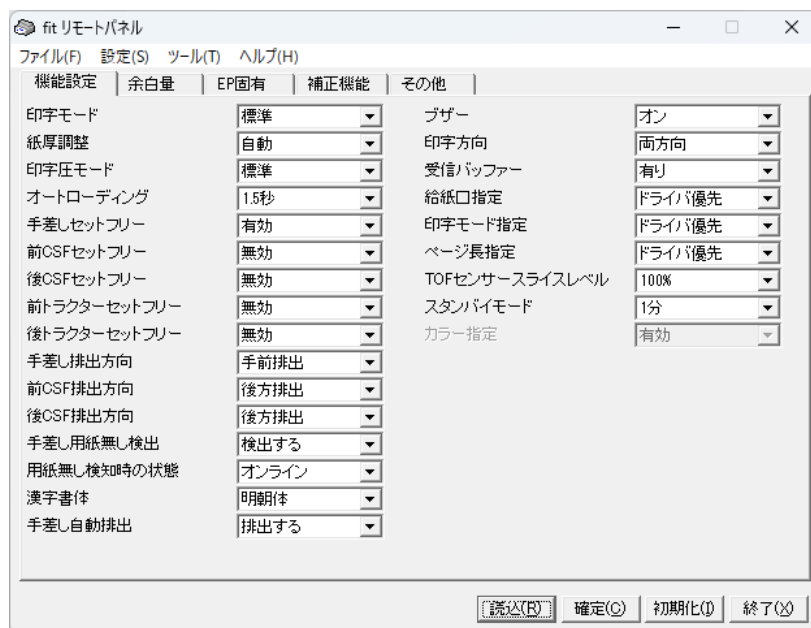
1. 〔すべてのアプリ(※)〕 → 〔fit7000Pro シリーズユーティリティ〕 → 〔fit7000Pro シリーズ リモートパネル〕 の順にクリックします
※ 各 OS における画面の表示方法については、“2.1 本書での説明表記について”の[すべてのアプリ]を参照ください。
2. プリンターを選択し、〔OK〕をクリックします
プリンターが見つからない場合は、プリンターの電源を ON にし〔検索〕をクリックしてください。



<ガイド>

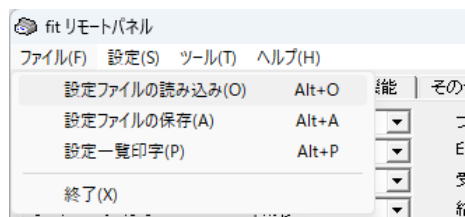
- ・ リモートパネルは、プリンターのインストール状況に関わらず動作します。
表示されるプリンター名は以下の通りです。
 - プリンタードライバーがインストールされている場合：
例) FIT fit7450Pro (sp) （インストールされたプリンター名が表示されます）
 - プリンタードライバーがインストールされていない場合：
例) モデル名が取得できた場合： fit7450Pro
モデル名が取得できなかった場合： Unknown
- ・ リモートパネルは、パラレル、USB または LAN カード（オプション: PR-LN4S 使用時）接続時に使用してください。
- ・ 以下の環境では リモートパネルを使用できません。
 - プリンタードライバーのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプション: PR-LN4S 使用時）以外の場合
 - パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合
- ・ リモートパネルがご使用いただけないプリンターには、警告マークが付加されて表示されます。警告マークの付いていないプリンターを選択してください。
- ・ プリンタードライバーで LPT ポートが設定されており、かつ LPT ポートをご利用になる場合、「ポート設定を LPT ポートから FILE へ変更してください」という案内メッセージが表示されます。このメッセージに従い、プリンターのプロパティ画面より設定を変更してください。

4.2.2 プリンターの機能設定



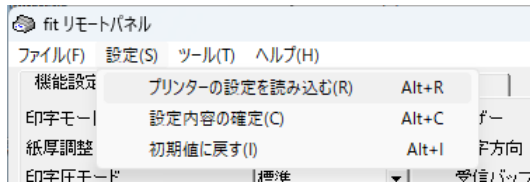
◆ メニューの説明

【ファイル】メニュー



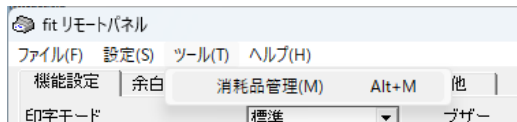
- ・ 設定ファイルの読み込み
保存されている設定値ファイルを読み込み、fit リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。
- ・ 設定ファイルの保存
リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとして保存します。
- ・ 設定一覧印刷
設定内容の一覧を印字します。
- ・ 終了
リモートパネルを終了します。

【設定】メニュー

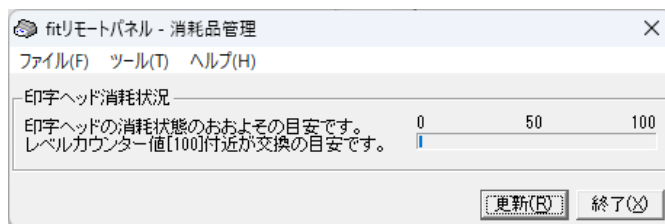


- ・プリンターの設定を読み込む
プリンター装置から設定値を読み込み、fit リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンターの設定値に合わせます。
- ・設定内容の確定
リモートパネルで設定した内容をプリンターに送信します。
- ・初期値に戻す
リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。また、プリンター装置の設定を初期値にします。

【ツール】メニュー



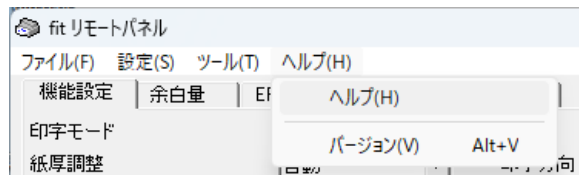
- ・消耗品管理
プリンター装置から、消耗品使用状況に関する情報を取得し、消耗品管理ウィンドウを表示します。



<ガイド>

- ・消耗品管理ウィンドウ起動時に、プリンター装置から消耗品情報を読み込みます。プリンターからの情報読み込みに失敗すると、応答無しメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

【ヘルプ】メニュー



- ・ヘルプ
リモートパネルのヘルプを起動します。
- ・バージョン
リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆ ボタンの説明

【読込（R）】

“設定”メニューの「プリンターの設定を読み込む（R）」と同等機能です。

【確定（C）】

“設定”メニューの「設定内容の確定（C）」と同等機能です。

【初期化（I）】

“設定”メニューの「初期値に戻す（I）」と同等機能です。

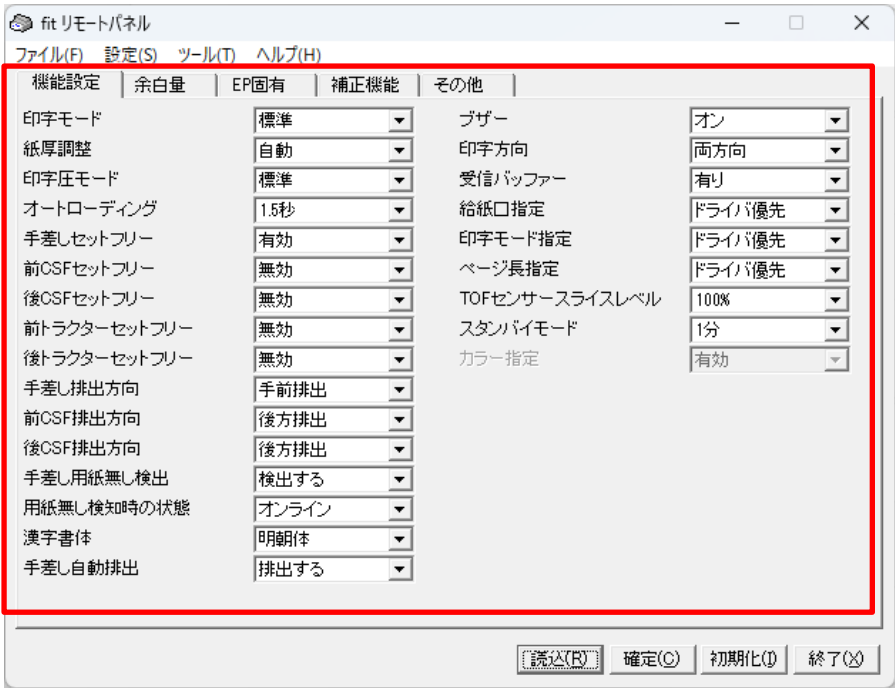
【終了（X）】

リモートパネルプログラムを終了します。

<ガイド>

- ・ プリンタードライバーで LPT ポートが設定されており、かつ LPT ポートをご利用になる場合、「ポート設定を FILE から LPT ポートへ変更してください」という案内メッセージが表示されます。このメッセージに従い、プリンターのプロパティ画面より設定を変更してください。

◆ 設定項目の説明



設定タブ	内容
機能設定	オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する共通項目の設定を行います。
余白量	余白量に関する項目の設定を行います。
EP 固有	EP モード固有項目の設定を行います。
補正機能	改行補正と上端余白量補正、および下端余白量補正項目の設定を行います。
その他	プリンターの制御方法に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンター編』をご参照ください。

fit7850Pro/fit7650Pro : 「2 プリンターの機能とその使いかた」の「2.9 セットアップ項目一覧」

fit7450Pro : 「2 プリンターの機能とその使いかた」の「2.7 機能設定を変える」－「2.7.6 機能設定の種類」

4.3 ステータスマニター

ここでは、fit ステータスマニターの機能について説明します。

fit ステータスマニターは、プリンター装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティープログラムです。

プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印字中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）します。

Windows の印字ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンターの状態を取得し、表示します。（プリンターの状態が変わっても、fit ステータスマニターの表示は自動的に更新されません。）

4.3.1 ステータスマニターの起動

fit ステータスマニターをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録します。

Windows を起動すると、fit ステータスマニターは自動的に起動されます。

ただし、印字を実行しても、自動的に起動しません。fit ステータスマニターを利用するには、印字実行前にあらかじめ fit ステータスマニターを起動しておく必要があります。

fit ステータスマニターを表示させるには、プリンターとの接続インターフェイスを双方向通信に設定する必要があります。プリンタードライバーで双方向通信機能を有効に設定してください。

<ガイド>

- ・ fit ステータスマニターを使用するときは、ステータスマニター用のプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- ・ fit ステータスマニターを使用するときは、fit7850Pro (sp)など監視するプリンタードライバーを「通常使うプリンター」に設定し、プリンタードライバーの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ・ ステータスマニターは、パラレル、USB または LAN インターフェイス接続時に使用してください。

以下の環境では、ステータスマニターを使用できません。

1. プリンタードライバーのポート設定がパラレル、USB または LAN(FSPR)ポート以外の場合
 2. USB 変換ケーブルで接続している場合
- ・ fit ステータスマニターを使用するときは、プリンターの『エラー監視機能』を「有効」に設定してください。

設定方法は、リモートパネルまたは、取扱説明書(プリンター編)をご参照ください。

fit7850Pro/fit7650Pro : 「2 プリンターの機能とその使いかた」の「2.9 セットアップ項目一覧」

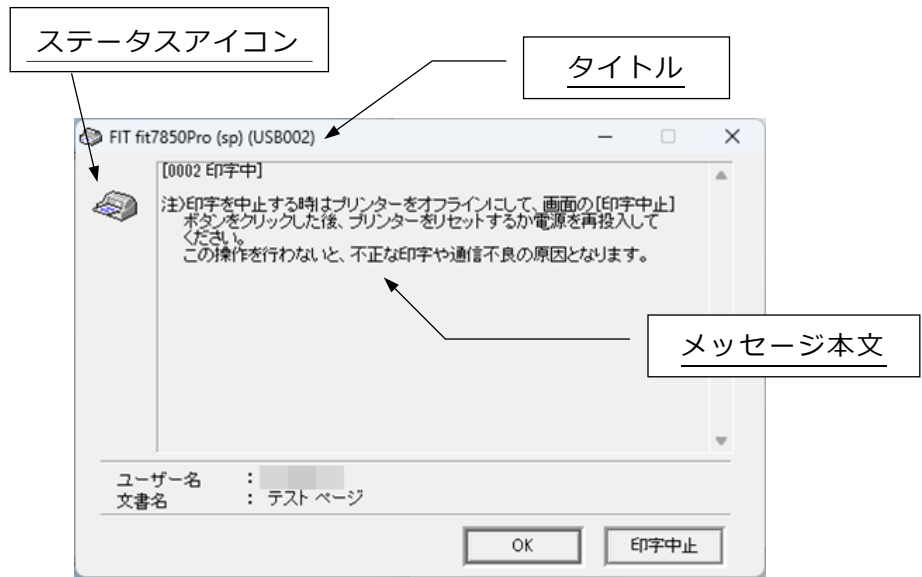
fit7450Pro : 「2 プリンターの機能とその使いかた」の「2.7 機能設定を変える」 - 「2.7.6 機能設定の種類」

- ・ fit ステータスマニターを使用しているときに、プリンターエラーにより印字をキャンセルするときは fit ステータスマニターの「印字中止」ボタンをクリックしてください。

fit ステータスマニターが起動されている状態で、プリンターフォルダーから印字をキャンセルすると、その後プリンターをリセットしてもデータが削除されず、プリンターが正常に動作しなくなるとき（プリンターの電源再投入で復旧）があります。

4.3.2 表示ウィンドウ

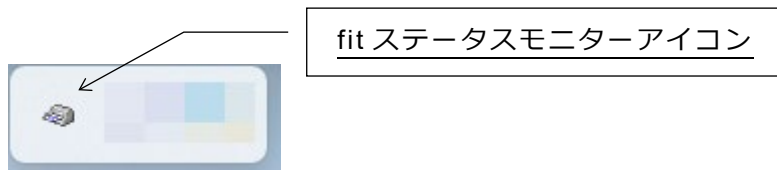
◆ ポップアップ表示



表示項目	内容	
タイトル	プリンター名(指定されているプリンターポート)	
メッセージ本文 (注 1)	[ステータス番号 プリンター状態名] プリンター状態の説明と処置方法を表示します。	
ステータスアイコン		印字中、または印字可能状態であることを示します。 (エラーなし状態)
		印字中、または印字可能状態であることを示します。 (ワーニングメッセージ有り※)
		エラー発生状態であることを示します。 (復旧可能なエラー)
		エラー発生状態であることを示します。 (復旧不可能なエラー)
		エラー発生状態であることを示します。 (ハードエラー)
	※ ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。	
ユーザー名	印字要求を行ったユーザー名を表示します。	
文書名	印字中の文書名（印字ジョブ名）を表示します。	
OK ボタン	[OK] ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納します。	
印字中止ボタン	ステータス表示中の印字ジョブの印字を中止する場合に押下します。 [印字中止] ボタンを押下することにより、該当印字ジョブの印字を中止し、本ウィンドウをタスクトレイ内にアイコンとして格納します。	

注 1) ステータス番号、プリンター状態名、プリンター状態の説明の一覧については、「4.3.3 状態表示一覧」を参照してください。

◆ アイコン表示



表示項目	内容	
ステータスアイコン		印字中、または印字可能状態であることを示します。 （エラーなし状態）
		印字中、または印字可能状態であることを示します。 （ワーニングメッセージ有り※）
		エラー発生状態であることを示します。 （復旧可能なエラー）
		エラー発生状態であることを示します。 （復旧不可能なエラー）
		エラー発生状態であることを示します。 （ハードエラー）
	※ ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。	
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせるにより、ツールチップによる動作概要表示を行います。	

◆ アイコン表示時のマウス操作

操作	内容
左ボタンダブルクリック	ステータス表示をポップアップします。
右ボタンシングルクリック	ポップアップメニューの表示を行います。メニュー内の選択項目を以下に示します。
〔元のサイズに戻す（R）〕	マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能です。
〔印字中止（C）〕	印字中止ボタンと同じ機能です。
〔ステータス表示の終了（X）〕	fit ステータスマニターを終了します。

4.3.3 状態表示一覧

ステータス番号	プリンター状態名	プリンター状態の説明
0000	印刷可能	印字可能です。
0002	印刷中	印字中です。
0003	印字中	他のユーザーが使用しています。
0300	オフライン	プリンターがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダー)	選択されているカットシートフィーダーに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0303	単票抜き取り待ち	排紙した用紙が単票テーブルに残っています。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0306	用紙吸入エラー	用紙が正しく吸入できませんでした。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム (トラクターユニット)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	トップカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダー)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム (トラクターユニット)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0406	印字桁ずれ	印字の桁ずれを検出しました。
0407	用紙厚異常	このプリンターで使用できない厚さの用紙に印字しようとしています。
0408	改行ジャム	紙送り中に紙づまりが発生しました。
0409	リボン異常	リボンの異常を検出しました。
0500	通信エラー	プリンターとの通信がエラーとなりました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0701	フレームファンアラーム	フレームファンの異常を検出しました。
0702	斜行ユニットアラーム	斜行ユニットホームポジション検出に失敗しました。
0703	HCPP アラーム	HCPP ホームポジション検出に失敗しました。
0704	APTC アラーム	APTC ホームポジション検出に失敗しました。
0705	LRES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
0706	SP ファンアラーム	SP モーターファンの異常を検出しました。
0707	電源ファンアラーム	電源ファンの異常を検出しました。
0708	CSF モーターアラーム	CSF モータードライバの異常を検出しました。
0709	リボンモーターアラーム	リボンモータードライバの異常を検出しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドドライバの異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モーター及びトラクターモータードライバの異常を検出しました。

ステータス番号	プリンター状態名	プリンター状態の説明
0715	SP アラーム	スペースモータードライバの異常を検出しました。
1500	応答なし/通信異常	プリンターからの応答がありません。
1520	通信エラー	プリンターとの通信が異常となりました。

<ガイド>

- ・ エラーが発生したときは、ステータスウィンドウ内のメッセージに従って、エラーを解除してください。

5 トラブルシューティング

プリンタードライバー及び各ソフトウェアの代表的なトラブルの対処方法について記載します。

5.1 インストール

トラブル内容	対処方法
	Windows10 以上または Server2016 以上の OS でご使用ください。
	フォルダー名を変更して、再度本ツールを起動してください。
	コピーしたファイル、またはファイル解凍が失敗した可能性があります。再度コピーまたはファイル解凍を行ってください。
ホームページが表示されない	インターネットに接続されているかご確認ください。

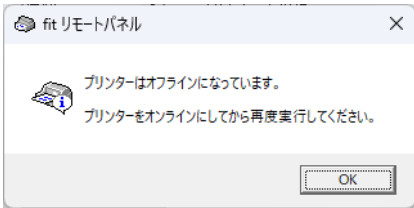
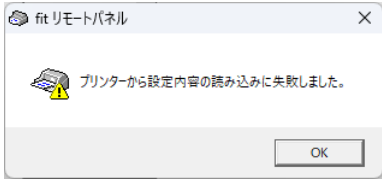
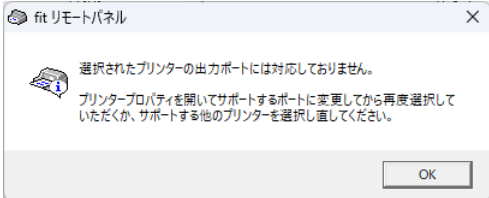
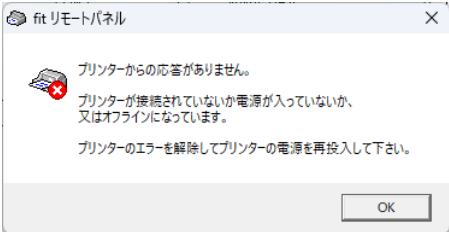
5.2 プリンタードライバー

トラブル内容	対処方法
印刷されない	プリンターの状態とプリンターケーブルの接続を確認してください。 ・プリンターの電源が入っていますか。 ・パラレルケーブル/USB ケーブル/LAN ケーブルは、正しく接続されていますか。 ・プリンターがエラー状態になっていませんか。 ・プリンターがオフライン状態になっていませんか。
	プリンタードライバーの設定を確認してください。 ・ポートの設定は正しいか、「プリンターのプロパティ」の「ポート」シートで、プリンターポートを確認します。 ・プリンタードライバーが、「停止中」、「一時停止」、または「オフラインで使用する」と表示されていませんか。 下記方法で、プリンタードライバーの状態を確認します。 1. プリンターフォルダーを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターフォルダー]を参照) 2. プリンタードライバーのプリンターキューを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターキューを開く]を参照) 3. 表示されたウィンドウや状態に、[停止中]、[一時停止]、または[オフラインで使用する]と表示されていないか確認します。 - [停止中]、[一時停止]と表示されているとき「プリンター」メニュー、および「ドキュメント」メニューの、「一時停止」をクリックして解除します。 - [オフラインで使用する]と表示されているとき、「プリンター」メニューの、「プリンターをオフラインで使用する」をクリックして解除します。

トラブル内容	対処方法
上端の印刷位置がずれる	プリンタードライバーの「上端余白」設定を変更して調整してください。 (4.1.10 上端余白 参照) また、「かんたん印字位置合わせ」機能を使用しても調整可能です。 (4.1.13 かんたん印字位置合わせ 参照)
左端の印刷位置がずれる	■ 単票印刷の場合 プリンター設定または用紙のセット方法を変更して調整してください。 (取扱説明書(プリンター編) 3.1 用紙をセットする 参照) ■ 連帳印刷の場合 プリンタードライバーの「連続紙左端余白」設定を変更して調整してください。 (4.1.9 連続紙左端余白 参照) また、それでも調整ができない場合は、プリンター設定または用紙のセット方法を変更して調整してください。 (取扱説明書(プリンター編) 3.1 用紙をセットする 参照)
印刷が文字化けする	プリンターとプリンタードライバーが異なっている可能性があります。 ご使用のプリンターとプリンタードライバーが同じであるかご確認ください。
	印刷ジョブが残っている可能性があります。 以下手順でジョブ削除を行ってください。 1. プリンターの電源を OFF にします。 2. プリンターフォルダーを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターフォルダー]を参照) 3. プリンタードライバーのプリンターキューを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターキューを開く]を参照) 4. 表示されたウィンドウのドキュメント欄にジョブがある場合は、[プリンター]→[すべてのドキュメントの取り消し]をクリックしジョブの削除を行ってください。 ※ 削除に時間がかかる場合があります。

トラブル内容	対処方法
プリンタードライバーが削除できない。 プリンタードライバーパッケージが削除できない。	印刷ジョブが残っている可能性があります。 以下手順でジョブ削除を行ってください。 1. プリンターの電源を OFF にします。 2. プリンターフォルダーを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターフォルダー]を参照) 3. プリンタードライバーのプリンターキューを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターキューを開く]を参照) 4. 表示されたウィンドウのドキュメント欄にジョブがある場合は、[プリンター]→[すべてのドキュメントの取り消し]をクリックしジョブの削除を行ってください。 ※ 削除に時間がかかる場合があります。
	該当プリンターすべてのプリンタードライバーが削除されていない可能性があります。 プリンターフォルダーを開き、該当のプリンタードライバーがないか確認し、ある場合は削除を行ってください。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターフォルダー]を参照)
	PC の再起動後、再度削除を行ってください。

5.3 リモートパネル

トラブル内容	対処方法
	プリンターがオフライン状態になっています。 オンラインスイッチを押下しオンライン状態にしてください。
	プリンターがエラーまたはオフライン状態になっている可能性があります。 エラーまたはオフライン状態を解除してください。
	プリンタードライバーのポートがリモートパネルに対応していないポートに設定されています。 USB00x / LPTx: / FSPr_ xxx.xxx.xxx.xxx / xxx.xxx.xxx.xxx のいずれかポートに変更してください。
	プリンターの状態とプリンターケーブルの接続を確認してください。 ・プリンターの電源が入っていますか。 ・パラレルケーブル/USB ケーブル/LAN ケーブルは、正しく接続されていますか。 ・プリンターがエラー状態になっていませんか。 ・プリンターがオフライン状態になっていませんか。
アンインストールができない	リモートパネルが起動している可能性があります。 リモートパネルを終了し、再度アンインストールを行ってください。
	PC の再起動後、再度削除を行ってください。

5.4 ステータスマニター

トラブル内容	対処方法
エラーステータスがポップアップされない	プリンタードライバーのポートがステータスマニターに対応していないポートに設定されています。 USB00x / LPTx: / FSPr_xxx.xxx.xxx.xxx のいずれかのポートに変更してください。
	プリンタードライバーの[双方向サポートを有効にする]のチェックが OFF になっている可能性があります。 下記の手順でチェックを ON に変更してください 1. プリンターフォルダーを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンターフォルダー]を参照) 2. プリンタードライバーのプリンタープロパティを開きます。 (2.1 本書での説明表記について の[プリンタープロパティ]を参照) 3. “ポート”タブを開き、[双方向サポートを有効にする]のチェックを ON にし、 [OK]をクリックします。
アンインストールができない	ステータスマニターが起動している可能性があります。 ステータスマニターを終了し、再度アンインストールを行ってください。

**ドットインパクトプリンター
fit7850Pro/fit7650Pro/fit7450Pro
取扱説明書(ソフトウェア編)**

発行日 2026 年 5 月 第 11 版
発行責任 富士通アイソテック株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。